

令和4年度  
浦安市教育委員会  
点検・評価報告書

令和5年11月

浦安市教育委員会

# 目次

## 第1章 点検・評価の趣旨等

- 1 点検・評価の趣旨 . . . . . 1
- 2 点検・評価の方法 . . . . . 1
- 3 点検・評価の概要 . . . . . 2

## 第2章 教育委員会について

- 1 教育委員会について（令和4年度） . . . . . 3
- 2 教育長及び教育委員名簿（令和4年度在籍） . . . . . 3
- 3 教育委員会会議での審議状況（令和4年度） . . . . . 4

## 第3章 施策の実施状況等

### 第1節 健全育成

- 1 子どもの健やかな成長と豊かな心を育む環境づくり
  - （1）青少年補導員による街頭補導活動等の推進 . . . . . 5

### 第2節 学校教育

- 1 特色ある教育の推進
  - （1）情報教育推進事業 . . . . . 8
  - （2）園・小・中連携教育の推進 . . . . . 11
  - （3）人権啓発推進事業 . . . . . 12
  - （4）体力向上推進事業 . . . . . 14
  - （5）幼児期体力向上支援事業 . . . . . 16
- 2 一人ひとりの個に応じた指導の充実
  - （1）奨学支援金支給制度 . . . . . 17
  - （2）県立特別支援学校の誘致 . . . . . 19
  - （3）学校教育臨時教員等経費 . . . . . 21
  - （4）特別支援学級等の整備 . . . . . 23
  - （5）いじめ問題等の対策の充実 . . . . . 25
  - （6）日本語指導員の派遣 . . . . . 27
  - （7）いちょう学級における教育機能の充実 . . . . . 28
  - （8）学校給食費の無償化 . . . . . 30
- 3 教育環境の向上
  - （1）学校規模適正化事業 . . . . . 31
  - （2）認定こども園・幼稚園改修事業 . . . . . 33
  - （3）小・中学校改修事業 . . . . . 34
  - （4）防災教育の推進 . . . . . 36
  - （5）小・中学校エアコン更新事業 . . . . . 37

(6) 千鳥学校給食センター次期事業検討事業	・ ・ ・ ・ ・ 38
4 地域とともに子どもを育む体制の推進	
(1) コミュニティ・スクールのあり方検討	・ ・ ・ ・ ・ 40
第3節 生涯学習	
1 市民一人ひとりが学ぶ機会の充実	
(1) (仮称) 子ども図書館等整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 42
2 市民がつながり交流する機会の充実	
(1) 舞浜地区公民館整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 43
(2) ものづくり環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 45
第4節 文化	
1 歴史・伝統文化の保存・継承	
(1) 郷土博物館展示リニューアル事業	・ ・ ・ ・ ・ 47
2 市民が文化芸術に触れる機会の充実	
(1) 街頭パフォーマンスライセンス事業	・ ・ ・ ・ ・ 48
(2) 浦安アートプロジェクト事業	・ ・ ・ ・ ・ 50
第5節 スポーツ	
1 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実	
(1) eスポーツの推進	・ ・ ・ ・ ・ 52
(2) 浦安クリテリウムの開催	・ ・ ・ ・ ・ 53
2 誰もがスポーツを楽しめる施設の充実	
(1) 浦安小学校屋内水泳プール一般開放事業	・ ・ ・ ・ ・ 54
(2) 市内スポーツ施設の再配置調査検討業務	・ ・ ・ ・ ・ 55
(3) 運動公園の再整備	・ ・ ・ ・ ・ 57
(4) 総合体育館大規模修繕事業	・ ・ ・ ・ ・ 58
(5) 屋内水泳プール大規模修繕事業	・ ・ ・ ・ ・ 59
(6) 中央武道館大規模修繕事業	・ ・ ・ ・ ・ 60
3 スポーツへの関心を喚起する取り組みの推進	
(1) 総合型地域スポーツクラブの充実	・ ・ ・ ・ ・ 61
第4章 有識者からの意見	・ ・ ・ ・ ・ 62

## 第1章 点検・評価の趣旨等

### 1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と定められています。

この報告書は、令和4年度の施策や事業を、教育委員会事務局が適切に執行しているかどうかについて、教育委員会自らがチェックし、地域住民に説明責任を果たすため、点検・評価を行うものです。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) 点検・評価の対象

令和4年度に教育委員会が実施した施策や事業について、「浦安市第1次実施計画（修正版）」に位置付けられた施策を中心に振り返るとともに、それぞれの推進施策ごとに、教育委員会自らが事務の進捗状況について点検・評価したものです。

#### (2) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定では、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」と定められています。

このため、点検・評価にあたっては、「教育委員会の点検・評価報告書に係る有識者懇談会」を開催し、点検・評価に関するご意見をうかがいました。なお、懇談会有識者は次のとおりです。また、有識者からの主なご意見を「第4章」（62ページ以降）に記載しました。

#### ・有識者名簿

（職等については、令和5年4月1日現在）

氏名	職等
高橋 光法	元浦安市教育委員会教育総務部次長、 元浦安市立高洲小学校校長
須田 哲史	(株)サイバー・コミュニケーションズ 創業役員、 元明海中学校PTA会長
佐久間 邦友	日本大学文理学部教育学科 准教授

#### ・懇談会

令和5年度 第1回懇談会 7月19日 開催  
第2回懇談会 8月23日 開催

### 3 点検・評価の概要

#### (1) 教育委員会について

教育委員会会議での審議状況等について記載しました。

#### (2) 施策の実施状況等

「浦安市第1次実施計画（修正版）」に位置付けられた施策を中心に、事業の実績と今後の方向性を記載しました。

なお、有識者からいただいたご意見をもとに、記載内容の見直しを行うなどわかりやすい報告書となるよう努めています。



〈教育委員会会議の様子〉

## 第2章 教育委員会について

### 1 教育委員会について（令和4年度）

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地域の学校教育や文化・スポーツなどを含む社会教育に関する事務を管理・執行する行政委員会です。

教育長を代表者とし、他4人の委員で組織され、教育委員会の権限に属する事務を処理するため事務局が置かれています。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。任期は3年です。

教育委員は、市長が議会の同意を得て任命し、任期は4年です。

浦安市では教育総務部に、教育総務課・教育政策課・教育施設課・学務課・指導課・保健体育安全課など、生涯学習部に、生涯学習課・市民スポーツ課などの各課が置かれています。

### 2 教育長及び教育委員名簿（令和4年度在籍）

（令和5年3月31日現在）

職名	氏名	任期
教育長	鈴木 忠吉 すずき ただよし	平成30年4月1日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日
委員 (教育長職務代理)	宮 道 力 みや ちから	平成29年11月9日～令和3年11月8日 令和3年11月9日～令和7年11月8日 (令和元年10月5日～令和7年11月8日 教育長職務代理者)
委員	宮 澤 ミシェル みやざわ ミシェル	平成22年2月26日～平成24年9月30日 平成24年10月1日～平成28年9月30日 平成28年10月1日～令和2年9月30日 令和2年10月1日～令和6年9月30日
	吉 野 則 子 よし のりこ	令和元年10月5日～令和5年10月4日
	影 山 純 二 かげ やま じゅんじ	令和2年10月1日～令和6年9月30日

### 3 教育委員会会議での審議状況（令和4年度）

教育委員会会議は、毎月1回（第1木曜日）定例会を開催し、必要に応じて、臨時会を開催しています。会議では、議案や教育課題などに対して、多面的な角度よりご意見をいただき適切な会議の運営が図られました。また、会議録を作成し、市ホームページ等で公表しました。

区分	回数	議案数	協議数	報告数	その他	傍聴者数
定例会	12回	39件	5件	117件	1件	15人
臨時会	1回	8件	0件	1件	0件	0人
計	13回	47件	5件	118件	1件	15人

議案の性質別件数は次のとおりです。

項 目	件数
教育行政の運営に関する基本方針の決定	4
教育委員会規則・訓令の制定・改廃	14
管理職以上の職員の任免	1
附属機関の委員の任命・委嘱	10
教育功労者の決定	1
当初・補正予算審議	5
その他	12
計	47

## 第3章 施策の実施状況等

### 第1節 健全育成

#### 1 子どもの健やかな成長と豊かな心を育む環境づくり

##### (1) 青少年補導員による街頭補導活動等の推進

###### 1. 評価

事業名	青少年補導員による街頭補導活動等の推進		
担当部署	青少年センター		
成果指標	青少年補導員連絡協議会と連携した補導活動をはじめ、青少年健全育成連絡会や学校・警察等との情報交換及び関係会議への参加を通じて連携を深め、青少年の非行防止及び健全育成に努める。		
令和4年度目標	青少年健全育成団体とは今後もさらに連携を深め、多くの子どもたちが健やかに育つための事業の推進に努める。 パトロール回数：350回 ・ ネットパトロール実施日数：365日		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	パトロール回数：294回 ネットパトロール実施日数：毎日	パトロール回数：350回 ネットパトロール実施日数：毎日	パトロール回数：350回 ネットパトロール実施日数：毎日
令和4年度実績	青少年の活動実態に即した重点箇所や時間帯を踏まえて、効果的な活動計画を策定し、104人の青少年補導員を市内8ブロックに分けて、地域の実情に即したきめの細かいパトロールを行った。上半期のパトロールは、新型コロナウイルス感染症に伴う制限のためパトロールを中止した期間があったため、実施回数は達成することが出来なかった。 ネットパトロール事業ではInstagramやTwitterなどに問題のある書き込みや画像の投稿を発見した場合には、速やかに指導してもらうよう学校と連携している。 ネットパトロールは365日実施しており、リスクレベル3相当の発見は、随時報告があり、レベル2相当の発見は、週に1度、レベル1及びレベル外相当の発見は、月に1度の報告となっている。なお、レベル3の投稿については、これまで発見されていない。		
令和4年度評価	おおむね達成		

###### 2. 分析

街頭補導活動は「愛のひと声活動」「みまもり活動」を行っており、子どもたちに寄り添う立場でありたいという思いから青少年補導員では「みまもり隊」という別称を設けた。また、一般的に「補導」というと「警察」「捕まえる」「危険」といったイメージがあることから、そのイメージを払拭し、実際の補導員の活動内容を市民の皆様知ってもらうため、キャラクターの「ケロヤス」を作成した。ケロヤスの付いた緑のビブスやバッチを身に着けてパトロールを行ってきた。パトロールを中止した4月を除いて、青少年補導員による地区パトロール及び青少年センター職員によるパトロールを中心に街頭補導活動等を実施しており、内容としては、自転車運転の夜間無灯火などの自転車危険走行に対する指導や帰宅指導等となっている。青少年センターとしては、青少年補導員とともに街頭補導の際に今後も声かけを行っていく。

ネットパトロールでは、子どもたちの書き込みのほとんどは個人情報公開を占めているが、問題となる画像の投稿等はほとんど見られず、主に匿名による学校に対する誹謗・中傷となっている。



なお、昨年度の同報告書に記載した目標について、事務の進捗状況について点検・評価をする内容を精査し、実態に合わせた目標に変更を行った。

### 3. 参考実績

#### (1) 補導活動の充実・強化

##### ①パトロール実施回数

中央パトロール	7
地区パトロール	113
特別パトロール	2
職員パトロール	165
職員パト(特別)	7
合計	294

- 中央パトロール：4つの時間帯における市内全域のパトロール
- 地区パトロール：中学校区ブロックごとに地域の実情に合わせて実施
- 特別パトロール：市の行事等に合わせて実施  
(盆踊り・花火大会・県下一斉合同パトロールなど)
- 職員パトロール：生徒・児童の下校に合わせた市内巡回や市民からの情報により実施
- 職員パト(特別)：社会情勢等に応じて随時実施

##### ②パトロール延べ参加者数 (実人数)

※()内は参加者の実人数

	補導員	教員 補導員	警察官	センター 職員	その他	合計
中央パトロール	30(27)			14(5)		44(32)
地区パトロール	595(94)	23(7)	1(1)	4(4)	8(8)	631(114)
特別パトロール	92(65)	6(4)				98(69)
職員パトロール				189(5)		189(5)
職員パト(特別)				12(5)	2(2)	14(7)
合計	717(186)	29(11)	1(1)	219(19)	10(10)	976(227)

##### ③補導の学職・行為別集計

	小学生		中学生		高校生		大学等		その他		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
刃物等所持、粗暴行為、金品不正要求、家出、無断外泊、怠学・怠業、金品持出し、性的いたづら、不健全性的行為、飲酒、喫煙、不良交友、盛場はいかい、深夜はいかい	現在のところありません。										
不健全娯楽											0
自転車危険行為(二人乗り)		1	5		6	1			3	7	23
自転車危険行為(夜間無灯火)	16	5	10	2	10	3	8	6	50	24	134
自転車危険行為(傘さし)			4		2	1	3	2	8	3	23
自転車危険行為(並進)	1	1		2	1		2	2	2	2	13
自転車危険行為(逆走)		2	2				2	3	1	2	12
自転車危険行為(通話・スマホ)		1			10	7	3	2	8	7	38
自転車危険行為(イヤホン装着)			2				1	2	2		7
自転車危険行為(その他)	3				3	3			4	2	15
迷惑行為											0
不登校											0
その他(帰宅指導)	53	14	11	2	15	12					107
その他	11	6	2			1	2		2	2	26
合計	84	30	36	6	47	28	21	17	80	49	398

## (2) 環境浄化活動の強化

### 令和4年度ネットパトロール状況

ネットパトロールでは Twitter・Instagram などの SNS サイトや5ちゃんねるなどの掲示板サイト、Youtube などを隠語などのキーワードを用いて検索し、不適切な投稿や問題行動を早期に発見し、学校の生徒指導に役立ててもらい、子どもたちを未然に犯罪被害から守る目的で実施した。

#### ・リスクレベル別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
レベル1	5		3	1			1						10
レベル2	2		1			1	2		1				7
レベル3													
レベル外	18	20	17	20	23	23	19	21	21	24	24	21	251
合計	25	20	21	21	23	24	22	21	22	24	24	21	268

リスクレベル1：自身の個人情報の公開（氏名、学校、写真の3点が揃ったもの）

リスクレベル2：いじめ、飲酒、喫煙などの問題行動や他人の誹謗中傷・詳細な個人情報の公開

リスクレベル3：少年事件、自殺、犯罪予告など事件性があり人命に影響をあたえかねないもの

リスクレベル外：個人が推測される恐れがあり、注意が必要なもの

## 4. 今後の方向性

青少年センター職員も下校時間帯に青色回転灯のついたパトカーで巡回して声かけを行っているが、自転車運転の夜間無灯火などの自転車危険走行が目立っている。関係団体の会議等で、子どもたちへの自転車ルールやその他のマナーの指導をお願いする。

ネットパトロールについては、スマートフォンの利用が低年齢化していることからインターネットの利用方法や家庭内でのルールづくり等の啓発を行う。ネットパトロールは引き続き継続し、巧妙かつ複雑化するネットへの書き込みを注視し、児童生徒のネット被害を未然に防ぐため、問題行動があった場合には指導課等と連携し、特別ネットパトロールを行い、併せて教職員への研修も行っていく。



〈パトロールの様子〉

## 第2節 学校教育

### 1 特色ある教育の推進

#### (1) 情報教育推進事業

##### 1. 評価

事業名	情報教育推進事業		
担当部署	指導課		
成果指標	学校教育において一人一台端末の活用を推進していくことで、個に応じた資質能力の育成を図る。		
令和4年度目標	「児童生徒情報教育実態調査」 4項目の肯定的回答の平均 90% 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 4項目の肯定的回答の平均 85%		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	「児童生徒情報教育実態調査」 4項目の肯定的回答の平均 80.3%  「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 4項目の肯定的回答の平均 80.7%	「児童生徒情報教育実態調査」 4項目の肯定的回答の平均 85%  「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 4項目の肯定的回答の平均 85%	「児童生徒情報教育実態調査」 4項目の肯定的回答の平均 90%  「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 4項目の肯定的回答の平均 90%
令和4年度実績	「情報活用能力の育成体系表(浦安版)」と「情報活用能力の育成のためのポータルサイト」を作成し、教職員が学習指導要領に示された「情報活用能力」をより具体的に捉えるとともに、市内各校で実践された優れた授業例等を効率的に共有できるようにした。 ICT支援員を週1日派遣し、「わかる授業の実践」や教師のICT活用指導力の向上と児童生徒のICT活用能力の向上を図った。		
令和4年度評価	おおむね達成		

##### 2. 分析

令和4年12月に実施した「浦安市児童生徒情報教育実態調査」において、ICT機器の活用と学習意欲に関する質問をしたところ、肯定的に回答した児童生徒の割合は、以下ようになった。

- 1 タブレットやデジタルコンテンツなどの活用で授業がわかりやすくなった 「89.2%
- 2 友達と協力して学習したり、教えあったりしている 「88.8%
- 3 タブレットやスクリーンを使うことで、学習への関心・意欲が高まる 「77.1%
- 4 デジタル教科書やデジタルコンテンツを活用することで、学習への関心・意欲が高まる 「65.9%

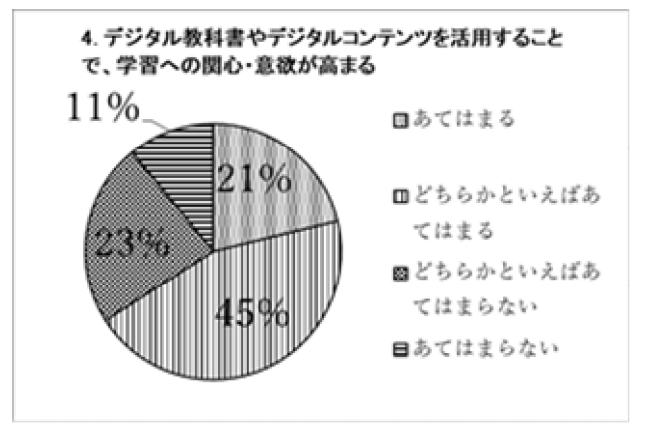
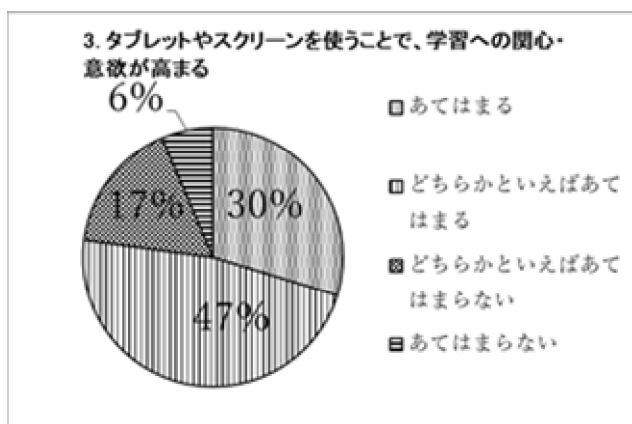
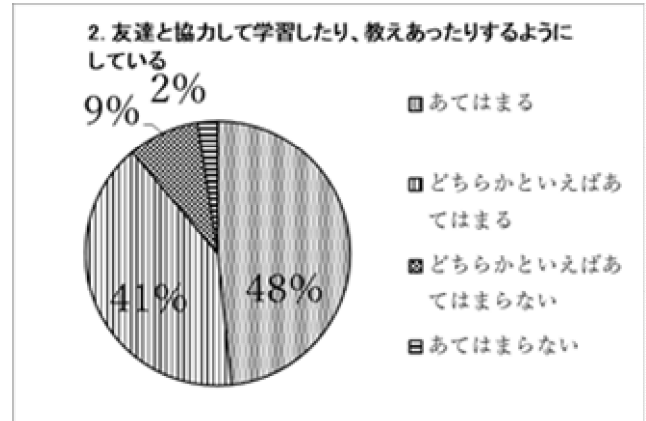
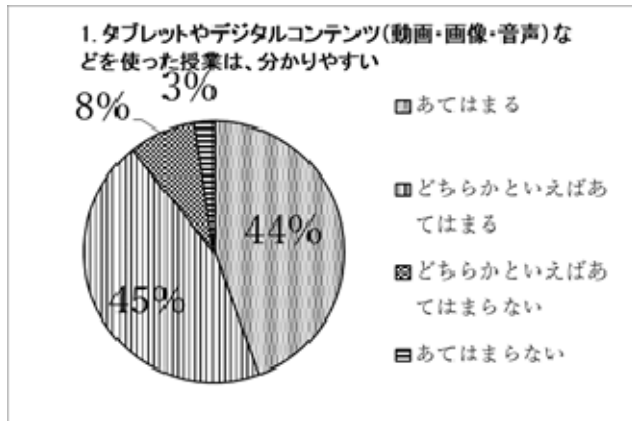
これらの結果から、タブレットやデジタルコンテンツ等のICT機器・サービスを活用することは、これまで同様児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学習内容の理解を高める効果があることがわかる。ICT機器を効果的に活用する事例も増えつつあり、協働的な学びの充実にICT機器が欠かせないツールとなっている。ICT支援員の教員や児童への支援も、ICT機器の効果的な利活用の推進に貢献している。効果的な事例については、「情報活用能力の育成のためのポータルサイト」に随時紹介した。

質問3・4の結果は、質問1・2に比べて低い肯定率になっている。児童生徒たちがタブレットやスクリーンなどを活用した授業形態に慣れ、ただ機器を使用するだけでは関心・意欲を喚起することが難しくなってきたのではないかと考える。

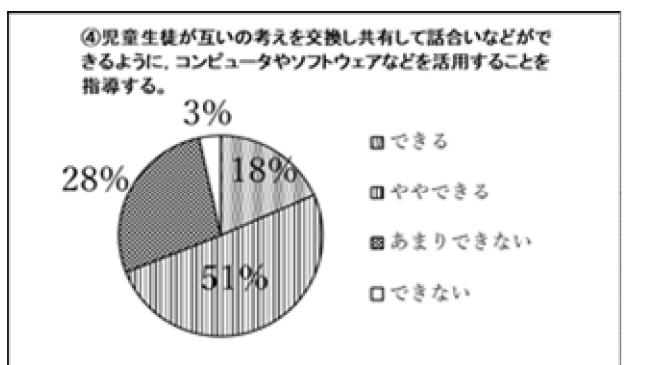
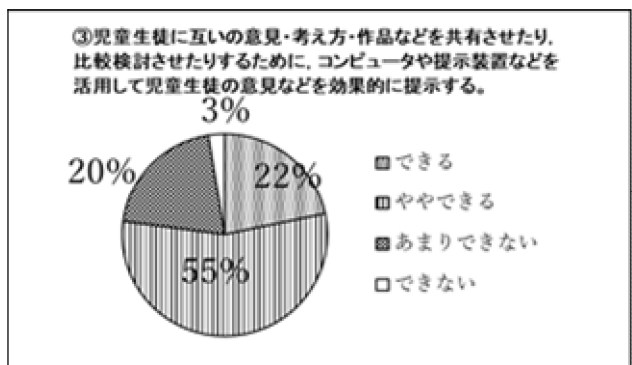
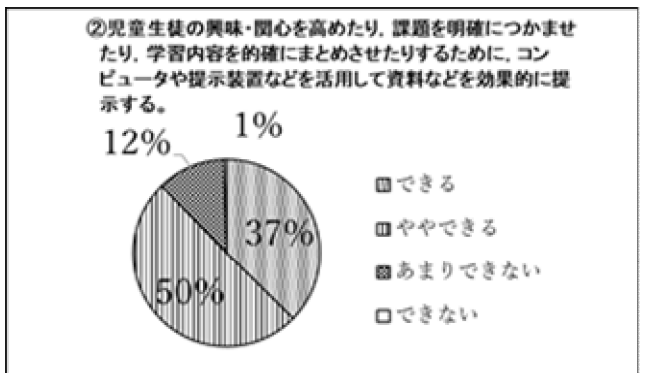
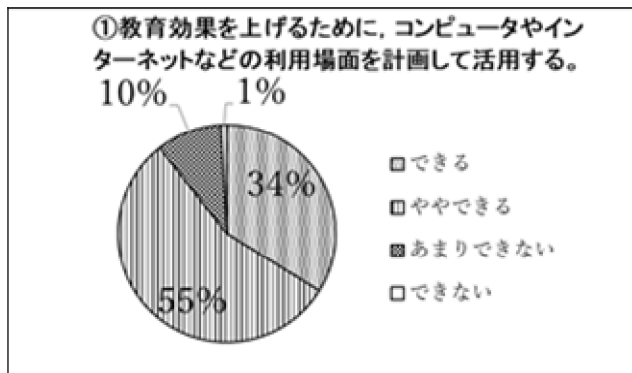
令和5年度の目標については、令和4年度の実績を踏まえ、令和6年度に向けて段階的に目標を達成できるよう修正を行った。

### 3. 参考実績

#### ①浦安市児童生徒情報教育実態調査



#### ②学校における教育の情報化の実態等に関する調査

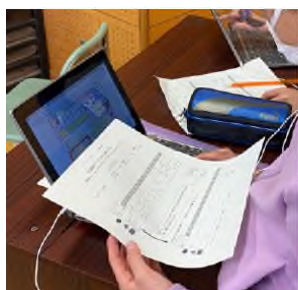


#### 4. 今後の方向性

情報教育推進事業については、児童生徒の情報活用能力を体系的・教科横断的に育成していくための ICT 活用が円滑に進められるよう、校内ネットワークの更新や機器修繕の対応を遅滞なく進めていく。また、授業支援アプリやドリル学習サービス等についても、様々な製品が開発・発表されてきているので、現行製品との比較検討を行い、よりよい製品があれば切り替えも視野に入れながら、ICT を活用した授業の充実につなげる。

教職員の ICT 活用指導力向上を図るため、学校訪問や研修会等を通して授業における ICT 活用の具体的場面を提示したり、効果的な活用について助言したりしていく。

学校に配置されている ICT 支援員との連携を強化し、整備された ICT 機器やアプリ・サービスの効果的な活用方法を教員に教授させることで、ICT 教育をより推進していく。

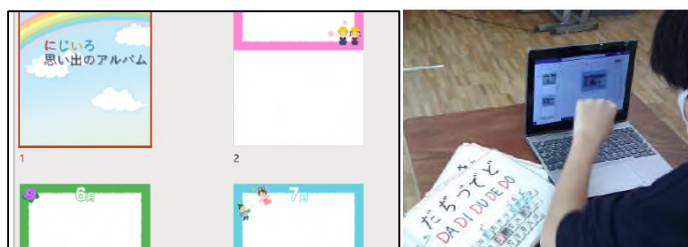


1人1台タブレットとプログラミング教材を使ったリズムアンサンブルづくり（小5音楽）

タブレットでグループの意見を発表し、全員で共有する（中3社会）



授業支援アプリを使って物語中の挿絵を描き、皆で鑑賞する（小1国語）



Microsoft365 アプリ（PowerPoint、Sway）を使ったアルバム作り（小特別支援）

## (2) 園・小・中連携教育の推進

### 1. 評価

事業名	園・小・中連携教育の推進		
担当部署	指導課		
成果指標	地域や子どもたちの実態を踏まえ、就学前から義務教育9年間の学びの連続性を重視した学習を進める。		
令和4年度目標	教育課程の届出様式に「学びの連続性の重視」や「園小中の連携の推進」といった内容を記載している小中学校の校数 16校		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	15校	20校	26校
令和4年度実績	令和4年2月に策定した「浦安市園・小連携5歳児の学びのカリキュラム・スタートカリキュラム」や「小・中連携一貫教育カリキュラムの指針」の活用について、園・学校訪問等をとおして、周知及び指導を行ったことにより、教員の連携に対する意識は少しずつ高くなっている。		
令和4年度評価	おおむね達成		

### 2. 分析

小学校17校中11校、中学校9校中4校、小中合わせて15校の教育課程に「学びの連続性の重視」や「園小中の連携の推進」といった内容が記載されていた。

園・学校訪問等をとおして周知及び指導を行ったり、各研修や会議、事業で連携の視点を取り入れたることにより、園・小・中連携を学習指導や交流活動などに生かし、学びの連続性を実現させていくという教員の意識は向上している。しかし、中学校区によって、連携のもち方や頻度などは様々であり、差異が見られることが課題である。実践や内容についても情報収集及び情報提供し、教育課程や実践を充実させていく必要がある。

令和3年度まで目標に挙げていた項目のアンケートが隔年実施のため、令和4年度より、毎年提出のある教育課程での実績で図ることができるよう目標を変更した。

### 3. 参考実績

「浦安市保護者と教員の教育に関する意識調査」における質問項目「学びの系統性や連続性を意識している」に肯定的な回答をした教員の割合は96.3%であった。

### 4. 今後の方向性

「浦安市園・小連携5歳児の学びのカリキュラム・スタートカリキュラム」や「小・中連携一貫教育カリキュラムの指針」の活用について、園・学校訪問等をとおして、周知及び指導を引き続き行う。

特に、架け橋期(5歳から小学校1年生)の滑らかな接続を図ること、中学校3年生をゴールの姿として、各中学校区における子どもの実態を踏まえた特色ある教育課程を編成することを推進していく。



(3) 人権啓発推進事業

1. 評価

事業名	人権啓発推進事業		
担当部署	指導課		
成果指標	<p>自他を尊重する児童生徒育成のため、道徳科の学習を要とし学校の教育活動全体を通して、人権意識の向上を図る。</p>		
令和4年度目標	<p>千葉県「令和4年度学校人権教育の推進に関する実態調査」において、「人権教育の推進により児童生徒にどのような成果があったか」に対し、学校の「自尊感情や自己有用感が高まった」または「他者への配慮・思いやりが深まった」への肯定的な回答 90%以上</p>		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	<p>千葉県「令和4年度学校人権教育の推進に関する実態調査」において、「人権教育の推進により児童生徒にどのような成果があったか」に対し、学校の「自尊感情や自己有用感が高まった」または「他者への配慮・思いやりが深まった」への肯定的な回答 80.7%</p>	<p>「浦安市小・中学生生活実態調査」における質問項目「自分や他の人を大切にしている」の割合 小学生・中学生 9割以上 参考 千葉県「令和5年度学校人権教育の推進に関する実態調査」の「人権教育の推進により児童生徒にどのような成果があったか」に対し、学校の「自尊感情や自己有用感が高まった」または「他者への配慮・思いやりが深まった」への回答 90%以上</p>	<p>千葉県「令和4年度学校人権教育の推進に関する実態調査」において、「人権教育の推進により児童生徒にどのような成果があったか」に対し、学校の「自尊感情や自己有用感が高まった」または「他者への配慮・思いやりが深まった」への肯定的な回答 90%以上</p>
令和4年度実績	<p>多様性社会推進課と連携し、「人権教室」「人権講演会」、その他人権教育に関する活動を実施することで、児童生徒に対して人権啓発を行った。 研修会では、教員の人権意識を高めるため、基本的な人権の考え方について確認した。あわせて、ヤングケアラーに関することを取り扱い、今日的な人権課題に対する教職員への啓発を行った。</p>		
令和4年度評価	おおむね達成		

## 2. 分析

- ・「令和4年度目標」を変更した理由  
「浦安市小・中学生生活実態調査」における質問項目を指標としていたが、調査の実施が隔年であることが課題であり、令和4年度は実施がなかった。千葉県「令和4年度学校人権教育の推進に関する実態調査」は、教員から見た児童生徒の姿についての回答となるが、毎年実施することから、「浦安市小・中学生生活実態調査」を実施しない場合に代用できる指標として採用した。
- ・児童生徒が人権について考える機会として、多様性社会推進課が中心となって実施している「人権教室」「人権講演会」、各学校で行っている「人権作文」「人権ポスター」等や、道徳の学習における啓発活動がある。人権作文等の内容からは、児童生徒が人権について新たに知ったり、考えたり、悩んだりする様子がわかる作品、誰かを尊重することで別の誰かが尊重されなくなるのではないか、自他を尊重するとはどういうことかを深く考えている作品などがあり、人権意識の向上につながったと捉えている。
- ・教員の人権意識や言動が、児童生徒の人権意識にも大きく影響することから、教員の人権意識の向上のために、令和4年度の人権教育の研修会では、教員が自らの言動を振り返ることができるよう「人権チェックリスト」を紹介した。担当だけが意識するのではなく「人権チェックリスト」を活用し、学校全体で省みるような機会が設定できるようにしている。
- ・人権教育の研修や2・3年目研修において、今日的な課題である「ヤングケアラー」について扱った。教員が「ヤングケアラー」への理解を深め、「ヤングケアラー」の視点をもちながら、児童生徒の理解に努めることにつながっている。

## 3. 参考実績

- ・人権教室 日の出小学校、高洲北小学校、明海小学校、東野小学校
- ・人権講演会 浦安中学校、高洲中学校、明海中学校
- ・浦安市人権標語コンテスト、人権作文 全中学校で実施  
応募総数 標語 2,305点、人権作文 804点

## 4. 今後の方向性

児童生徒が人権について理解するだけでなく、自他を尊重することができるようにするためには、定期的な人権学習の機会を活用しながら、日常的な指導につなげることが必要である。

定期的な人権学習の機会として、これまでの事業（人権講演会や多様性社会推進課の事業との連携）を継続するとともに、「人権公民ノート」や千葉県が作成している「学校人権教育指導資料集」の活用を通して啓発活動を推進していく。

また、教員の人権意識や日常的な指導力の向上につながるよう、人権教育研修では、様々な人権課題を扱い、啓発していく。



#### (4) 体力向上推進事業

##### 1. 評価

事業名	体力向上推進事業		
担当部署	保健体育安全課		
成果指標	体力・運動能力調査における、各種目の全国平均を上回る割合を令和6年度までに、小・中学校ともに60%にする。		
令和4年度目標	体力向上推進校における特色ある実践や、全ての小・中学校における体力向上推進計画に基づいた活動を通して、児童生徒の運動に親しむ態度の育成と体力の向上を図る。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	20.1%	60%	60%
令和4年度実績	体力向上推進事業を継続して実施し、指定した小学校4校及び中学校2校において、各校の実態に応じた特色ある実践を行うとともに、その他の全小・中学校において、体力向上推進年間計画に基づいた活動を行った。また、各学校の体育主任に対して、体力向上をテーマにした外部講師による研修会も実施し、各学校で共有した。		
令和4年度評価	未達成		

##### 2. 分析

令和4年度の調査における各学年各種目男女別平均値一覧では、全国平均値を上回った種目は、小学校男子全学年全種目48種目(8種目×6学年)のうち、12種目、女子では8種目、中学校では、全学年全種目24種目(8種目×3学年)のうち、男子が4種目、女子が5種目であった。その割合は、小学校が男子25.0%・女子16.7%、中学校が男子16.7%・女子20.8%となり、小中学校を合わせた総種目数における割合は、20.1%と成果指標を下回った。

全国平均を上回った割合が高かった種目は、小学生は男女ともに50m走(スピード)、中学生男子は長座体前屈(柔軟性)、中学生女子は上体起こし(筋力、筋持久力)という結果になった。また、5年間(平成29年度～令和4年度)の浦安市の児童生徒の体力・運動能力調査結果の推移から、小学生(男女)は反復横とび(敏捷性)、中学生(男女)は反復横とび(敏捷性)と20mシャトルラン(全身持久力)の数値が減少傾向にあることがわかった。

運動を積極的に行う子とそうではない子の二極化が進み、子どもたちの外遊びや運動時間が減少している。特に、中学生における運動時間は、部活動加入率の低下などもあり減少した。体力・運動能力調査の結果も小中学校ともに、全国平均値を上回る種目は少ない。この原因としては、児童生徒が学校の体育の授業以外で体を動かす機会が減っていることが考えられる。

体力向上推進校の実施報告書から、学校独自の取り組み(スポーツチャレンジウィーク、遊・友スポーツランキングちばへの積極的な取り組みなど)の実践や持久走の時間の確保、体育委員会などでのキャンペーン活動を取り入れた実践などの継続的な取り組みが報告されている。今後は、各小中学校でこのような取り組みを共有し、体育授業などで工夫された体力向上策が講じられるものと考えられる。また、運動部活動では浦安市小中学校体育連盟主催の大会や交流戦を専門部ごとに行い、児童生徒の主体性を伸ばし、更には体力向上に役立っていくと考えられる。

### 3. 参考実績

＜令和4年度各学年各種目男女別平均値＞

※色付き枠が全国平均値（令和3年度）を上回ったもの

浦安市：令和4年度実績

全国：令和3年度実績

#### (1) 小学校

種目	性別	男子						女子					
		学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年
①握力 (kg)	浦安市	9.34	10.67	12.48	13.46	15.89	18.67	8.81	10.33	11.62	13.24	16.01	18.83
	全 国	9.24	10.74	12.73	14.39	16.90	19.77	8.71	10.18	11.95	13.87	16.49	19.53
②上体起こし (回)	浦安市	10.84	14.62	16.04	16.52	18.51	21.97	10.23	13.20	15.31	16.84	18.60	19.10
	全 国	12.05	13.86	15.73	17.98	19.94	21.65	11.56	13.46	15.91	17.64	18.68	19.66
③長座体前屈 (cm)	浦安市	23.98	27.05	28.59	30.61	32.63	36.29	27.45	30.21	32.29	35.13	38.26	41.91
	全 国	26.39	28.61	30.34	31.78	33.37	35.78	28.78	31.01	33.91	35.52	37.30	40.71
④反復横とび (回)	浦安市	25.38	28.88	31.35	34.44	39.85	44.46	24.72	27.72	29.48	33.94	38.89	40.79
	全 国	28.28	31.65	34.95	39.43	42.83	45.86	27.39	30.74	33.75	37.64	41.00	43.44
⑤20mシャトルラン (回)	浦安市	20.68	24.66	31.00	35.84	44.20	55.13	14.14	19.08	22.96	28.12	36.85	39.71
	全 国	18.92	28.40	36.45	44.27	52.45	61.16	15.75	23.14	29.13	35.60	42.33	47.52
⑥50m走 (秒)	浦安市	11.40	10.50	10.02	9.25	9.16	8.83	11.71	10.92	10.16	9.44	9.41	9.21
	全 国	11.33	10.55	10.07	9.59	9.24	8.84	11.77	10.89	10.32	9.91	9.49	9.16
⑦立ち幅とび (cm)	浦安市	109.12	118.94	130.06	135.69	145.63	160.90	102.29	111.18	120.52	124.42	141.84	145.89
	全 国	117.03	127.19	136.77	147.73	155.86	166.33	108.78	119.28	130.53	141.05	148.36	155.76
⑧ソフトボール投げ (m)	浦安市	7.60	10.60	16.84	16.37	19.59	24.18	5.45	7.00	8.78	10.52	13.37	14.10
	全 国	8.43	11.08	14.74	18.47	21.75	25.43	5.70	7.36	9.45	11.61	13.86	15.97

#### (2) 中学校

種目	性別	男子			女子		
		学年	1年	2年	3年	1年	2年
①握力 (kg)	浦安市	21.72	25.41	34.86	21.72	23.19	24.75
	全 国	24.53	30.39	34.65	21.73	24.19	25.73
②上体起こし (回)	浦安市	21.88	26.27	30.36	22.41	24.47	26.08
	全 国	23.92	27.31	28.96	20.50	23.23	24.55
③長座体前屈 (cm)	浦安市	39.80	46.05	48.13	42.38	46.80	47.80
	全 国	40.98	44.80	47.81	43.64	46.65	49.00
④反復横とび (回)	浦安市	48.02	52.52	54.33	45.47	46.13	48.22
	全 国	49.69	53.77	56.28	45.78	48.31	49.34
⑤20mシャトルラン (回)	浦安市	65.25	83.36	88.38	50.36	60.11	59.80
	全 国	70.58	86.88	94.44	50.85	60.46	60.91
⑥50m走 (秒)	浦安市	8.60	8.10	7.44	9.02	8.52	8.63
	全 国	8.38	7.78	7.41	8.98	8.66	8.58
⑦立ち幅とび (cm)	浦安市	173.97	187.61	205.88	160.52	168.94	172.66
	全 国	185.41	203.80	216.35	167.23	174.40	178.61
⑧ハンドボール投げ (m)	浦安市	15.94	18.94	21.58	10.33	11.47	13.19
	全 国	18.14	21.09	23.54	11.92	13.35	14.44

### 4. 今後の方向性

体力向上推進事業については、引き続き体力向上推進校の指定を行う。学校体育に係る研究を推進するとともに、各学校間の情報共有を密にし、各小中学校の児童生徒の一層の体力の向上を図る。

また、体力・運動能力調査結果の保護者等への周知を広げることにより、家庭及び地域とも連携して子どもたちの運動機会の増加を図る。

## (5) 幼児期体力向上支援事業

### 1. 評価

事業名	幼児期体力向上支援事業		
担当部署	市民スポーツ課		
成果指標	運動公園施設と指定管理者が持つ運動指導のノウハウを活用し、幼児に楽しく運動をするプログラムを提供することで、幼児期における体力向上と生涯にわたり健康を維持する運動習慣の基盤をつくる。		
令和4年度目標	市内認可保育所等の利用率 65%		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	利用率 65.3%	利用率 75%	利用率 75%
令和4年度実績	令和4年8月から業務を開始し、3月までの8か月の間、開催予定数 432 回中 282 回の利用があり、利用率は 65.3%となった。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

運動公園施設を利用したくとも遠かったため利用が困難であった園や、園庭のない園などからのニーズが非常に高く、市が所有するマイクロバスでの送迎を実施した結果半数以上の登録や利用があったと考える。

なお、実施プログラムや体力向上の内容については下表のとおりである。

施設名	プログラム	体力向上内容
屋内水泳プール	水慣れ、水中アスレチック、バタ足等	平衡感覚、心肺機能
キッズスポーツルーム	うんてい、クライミング、トランポリン等	バランス感覚、握力や脚力
サブアリーナ	跳び箱、鉄棒、マット運動等	瞬発力、平衡感覚
陸上競技場	ランニング、ボール投げ、大縄跳び等	敏捷性、瞬発力

### 3. 参考実績

利用登録率 53.4% 対象園 58 園中 31 園が利用登録

利用率 65.3% 開催予定数 432 回中 282 回利用

### 4. 今後の方向性

令和4年度は事業開始年度であったため、8か月間での実施となったが、今後は年間を通じて継続的に実施し、登録園を増やして利用率の向上に努めていく。

## 2 一人ひとりの個に応じた指導の充実

### (1) 奨学支援金支給制度

#### 1. 評価

事業名	奨学支援金支給制度		
担当部署	教育総務課		
成果指標	修学に対する経済的支援を行うことで、修学を容易にし教育機会の均等を図る。		
令和4年度目標	浦安市奨学金制度検討委員会において、社会情勢、国・県の取組みなどを確認した上で、制度について検討を行う。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	浦安市奨学金制度検討委員会を開催し、「浦安市奨学支援金支給条例解釈運用基準」を制定した。 《支援金支給件数》 285件(実績値)	国の制度拡充等の状況を確認し、浦安市奨学金制度検討委員会において、本市の実情に合った制度にすべく、検討を行う。 《支援金支給件数》 261件(見込み)	国の制度拡充等の状況を確認し、浦安市奨学金制度検討委員会において、本市の実情に合った制度にすべく、検討を行う。 《支援金支給件数》 239件(見込み)
令和4年度実績	浦安市奨学金制度検討委員会を開催し、国の制度拡充等の状況を確認した上で現在の課題についてまとめた。 これまでの運用実績や本制度の主旨を鑑み、「浦安市奨学支援金支給条例解釈運用基準」を制定した。		
令和4年度評価	達成		

#### 2. 分析

令和4年度は、285名に奨学支援金を支給し、修学に対する経済的支援を行うことができた。

令和4年度から運用を開始した新制度では、支援金の支給決定者数は、令和3年度と比較し91名減少したが、これは、成績基準を見直したことが影響したものとする。なお、経過措置の適用により、1年度ごとに一学年ずつ新基準に移行するため、今後、数年間は、支給決定者数の減少が見込まれる。

一方で、支給金額の見直しにより、成績優秀者に、より手厚い支援ができるようになったことは、学業成績が優秀で学習意欲のある者に対する支援という、本来の趣旨に即した制度への移行ができたものとする。

また、奨学金制度検討委員会において、大学等対象者の成績要件に関する現状を整理し、課題となる要素を挙げて検討したが、運用にあたっては、引き続き検討が必要である。

#### 《令和4年度運用開始》

成績基準：5段階評価値 3.0以上 ⇒ 3.5以上（大学等成績優秀者は3.8以上⇒4.5以上）

成績優秀者支給金額：年額36万円 ⇒ 年額42万円

### 3. 参考実績

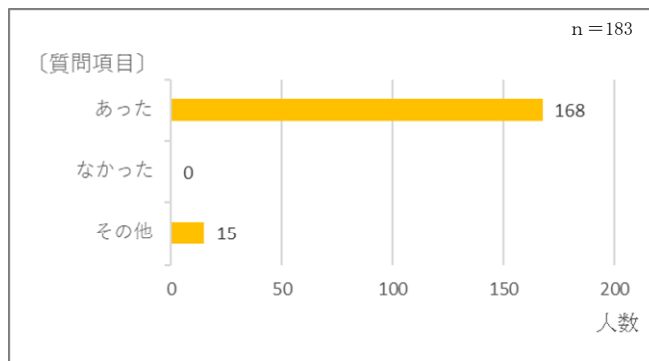
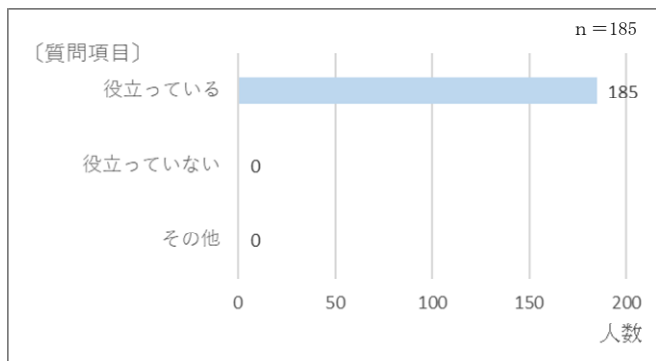
#### ①過去3年間の実績（支援金支給決定者数）

区分	学校等	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
高校等	高等学校	207 名	188 名	150 名
	特別支援学校	3 名	3 名	0 名
大学等	国公立大学	12 名	9 名	6 名
	私立大学	155 名	139 名	112 名
	短大・専門学校	50 名	37 名	17 名
合計		427 名	376 名	285 名

#### ②アンケート結果（令和4年度申請者対象）

〔質問事項〕奨学支援金はあなたの学校生活に役立っていますか？

〔質問事項〕奨学支援金を受けて、進学に影響はありましたか？



☞進学への影響で「その他」と回答した主な理由⇒『進学ではなく、主に教材費（参考書の購入等）に奨学支援金を利用した』や『通学のための交通費に充てた』など、用途の違いによるものであった。

〔質問事項〕奨学支援金は進学にどのような影響がありましたか？  
（影響が「あった」と回答した方のみ。複数回答可）

選択項目	人数	主な意見
進学先の選択肢が広がった	87	国公立大学を考えていたが、私立大学も選択肢に加えられた。奨学金のおかげで交通費や下宿代が軽減された。
希望の進学先に進むことができた	76	充実した学校生活を送ることができた。学校での追加授業を受けることができた。
進学をあきらめていたが進学できた	16	ひとり親家庭で収入が少ないが、支援金で自信をもって、安心して進学することができた。勉強に集中することができた。
その他	9	授業料の支払いができて、継続して学校に在籍できた。奨学金のおかげでアルバイトの時間を減らせ、勉強の助けになった。

### 4. 今後の方向性

現行制度を検証するとともに、奨学金制度検討委員会の助言や提案を参考に、本市の実情に即したより効果的な制度となるよう検討し、引き続き必要な支援を行う。

## (2) 県立特別支援学校の誘致

### 1. 評価

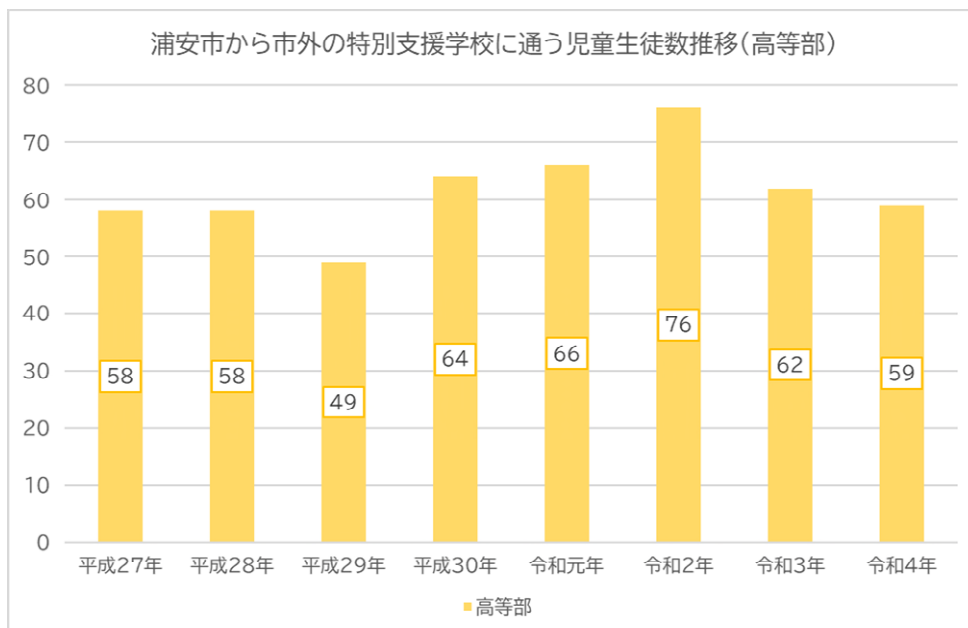
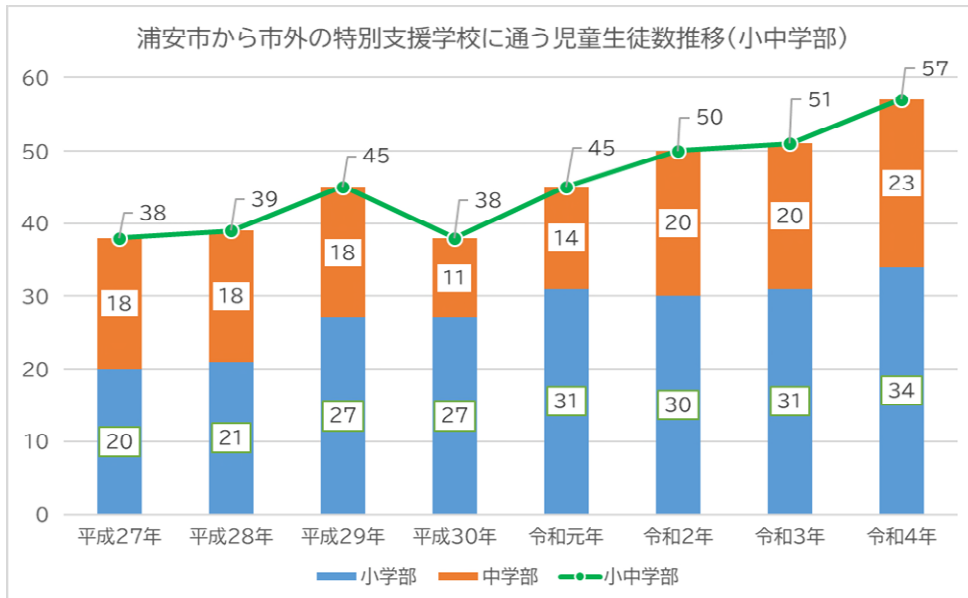
事業名	県立特別支援学校の誘致		
担当部署	教育政策課		
成果指標	特別な教育的支援の必要な児童生徒がより適切な指導や支援を受けられるよう、市内に県立特別支援学校の誘致を行う。		
令和4年度目標	誘致推進委員会の検討を踏まえ、誘致に向けた具体的な案を示し、引き続き県と協議を進め、誘致を推進する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	誘致案を基に県と協議を進め、明海南小学校校舎を活用し令和9年度に小中学部を開校することを決定した。	誘致に伴い、既存の小中学校の在り方について検討し、保護者や地域住民への丁寧な説明を行う。	小学校校舎の改修のため、県と協議しながら小学校の移転計画を学校と共同で策定し、小中学校全体で共有する。
令和4年度実績	令和3年度に実施した誘致推進委員会の報告書でまとめた誘致案を基に県と協議を行い、明海南小学校校舎を活用し、令和9年度に小中学部を開校することが決まった。開校年度に加え、設置学部、対応障がい種等を明記した確認書を県と市で交わし、詳細については令和5年度以降に協議を行うこととした。また、明海地区の全住戸に誘致内容を周知する文書を投函したり、当該校の中学校区域の保護者を対象に説明会を開いたりして、特別支援学校の誘致について周知を図った。		
令和4年度評価	おおむね達成		

### 2. 分析

県立特別支援学校の誘致については、平成20年度より継続して県等への要望書を提出してきたが、誘致の計画が一向に進まなかったため、要望のみにとどまらず、令和元年度には、特別支援教育のあり方検討委員会を設置し、本市の特別支援教育の方向性等を整理する中で、特別支援学校の誘致についても考え方を示した。令和2年度と令和3年度には県立特別支援学校誘致推進委員会を開催し、誘致に際し必要となる要件や環境の検討、関係者へのヒアリング調査を行った結果、誘致先の施設として、児童生徒の減少による空き教室を活用する既存校との併設型での誘致の方向性を整理した。令和4年度は、前年にまとめた誘致の方向性を基に県と交渉を行ったため、本市に特別支援学校を整備するという合意に結び付けることができた。当初、市としての誘致案である令和8年度の開校を目指して協議していたが、余裕のある工期を設定したいという県の考えから、最終的に令和9年度の開校を目指すことで合意した。

### 3. 参考実績

- ① 県立特別支援学校誘致推進委員会（庁内委員） 令和2年度 4回開催
- ② 県立特別支援学校誘致推進委員会（庁内委員、外部委員） 令和3年度 3回開催
- ③ 県立特別支援学校設置に関する要望書を毎年県等に提出している。



### 4. 今後の方向性

地域住民対象の説明会については、県担当も同席の上、開催するため調整を進めていく。また、特別支援学校と既存の小中学校の使用区分や土地・建物の貸借方法、高等部の誘致、インクルーシブな学校運営モデル事業などについても引き続き協議していく。

### (3) 学校教育臨時教員等経費

#### 1. 評価

事業名	学校教育臨時教員等経費		
担当部署	学務課		
成果指標	市費会計年度任用職員を配置することで、すべての児童生徒が等しく、かつ、質の高いより適切な指導や支援が受けられるようにする。		
令和4年度目標	学習支援室活用推進教員、学年・教科支援教員を全小・中学校に配置することで、個に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに専門性のある教科指導を行い、配置目標85%以上を目指す。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	市費会計年度任用職員の配置が83.6%であった。	市費会計年度任用職員の配置85%以上を目指す。	市費会計年度任用職員の配置85%以上を目指す。
令和4年度実績	途中退職を含め135名の市費会計年度任用教職員を配置した。全国的な講師不足のため、目標値(85%以上)には至らなかったが、配置83.6%以上とすることができた。		
令和4年度評価	おおむね達成		

#### 2. 分析

教職員の配置については、まず、県費負担教職員の配置が第一優先となる。近年、その正規職員が年度当初から欠員となっている現状がある。その要因は①定年退職や普通退職者の増加 ②少子化の中でも、特別支援学級に在籍する児童生徒数の増加と段階的な35人学級の年次進行による学級数の増加 ③教科担任制、専科教員等、きめ細かい指導のために必要となる教職員数の増加 ④精神的事情による教職員の療養休暇等の増加 ⑤若年層の新規採用者の産育休の増加 ⑥昨今の教員志望者の激減等があげられる。

本市で長く、市会計年度任用職員として活躍していただいた方も当然ながら年々、年齢構成が上がり毎年10数名が退職する状況となっている。しかし、前述⑥のように若年層の雇用が減少していることから、退職者が新規採用者を上回る状況となっている。学習支援室活用推進教員については「各学校1名」、学年・教科支援教員については、「各学校1名及び1学級あたり30人以上となっている学級数」、「特別な配慮を必要とする児童生徒」の状況に応じて、それぞれの配置基準に基づき配置に努めているが、未配置となっている状況がある。

なお、令和3年度目標にあった免許外教科対策教員と特任教員は、令和3年度末で廃止のため、令和4年度目標からは削除している。



### 3. 参考実績

令和4年度 配置数

職 種	小	中	計
学習支援室活用推進教員	17	9	26
学年・教科支援教員	73	19	92
合 計	90	28	118

### 4. 今後の方向性

学習支援室活用推進教員、学年・教科支援教員を全小・中学校に 85%以上の配置を目指し、児童生徒一人一人がきめ細かな指導・支援を受けられるようにする。また、児童生徒数や学級数の推移、児童生徒の状況を把握し、関係各課との連携による配置基準の見直しを行うことで、市費会計年度任用職員の適切な配置に努める。加えて、安心して働ける職場環境の整備や改善を含めた教職の魅力向上、大学などの養成機関への広報に取り組み人材確保に努める。



〈授業の様子〉

#### (4) 特別支援学級等の整備

##### 1. 評価

事業名	特別支援学級等の整備		
担当部署	教育研究センター		
成果指標	市立小中学校に特別支援学級や通級指導教室を整備することで、特別な教育的支援の必要な児童生徒が、より身近な場所で適切な指導や支援が受けられるようにする。		
令和4年度目標	特別な教育的支援の必要な児童生徒のニーズを確認しながら、特別支援学級全校設置に向け、未設置校1校に開級する。また、通級指導教室では巡回による指導の拡充に向け、巡回校をさらに増やしていく。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	開設(富岡小学校)	開設(日の出小学校)	開設(小学校1校)
令和4年度実績	令和4年度には特別支援学級全校配置に向け、富岡小学校に特別支援学級を開設した。 通級指導教室は、指導を希望する児童生徒が増えてきたことから、浦安小学校「ことばときこえの教室」及び東小学校「LD・ADHD等の通級指導教室」において教室数を増やした。		
令和4年度評価	達成		

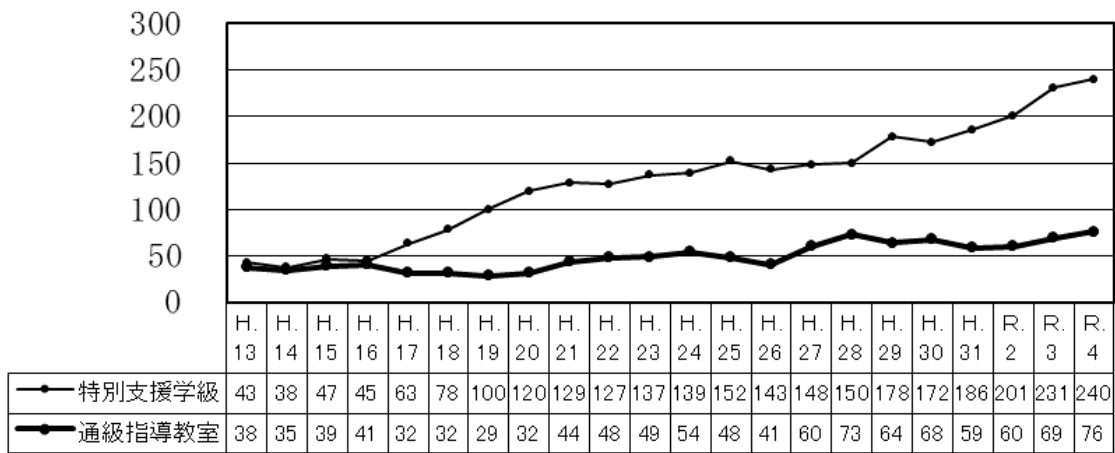
##### 2. 分析

令和4年度の特別支援学級は、小学校163名、中学校77名が在籍し、子どもたちの持てる力を十分発揮できるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行った。また、子どもたちが地域で学べる環境を整えるため、通学区において特別支援学級を整備したことで、保護者や子どもたちにとっても、学びの場の選択肢が増えたことや、就学前も含め、保護者との相談・連携の充実により、特別支援学級における個に応じた学び方の良さが理解されてきたこと等から、特別支援学級の在籍者数は引き続き増加している。

通級指導教室では、児童生徒が通級を利用する必要性について担任と通級指導教室担当者の連携が図られ、指導を受けるための検討を行うケースが増えてきている。また、教室数及び担当者が増えたことで、指導を受けたい児童生徒の希望を受け入れやすくなった。今後も周知に努め、個に応じた指導・支援の充実を図っていく。

### 3. 参考実績

特別支援学級・通級指導教室の児童生徒数の推移



単位：人

### 4. 今後の方向性

特別支援学級については、全校設置に向けて、未設置校の特別な教育的支援の必要な児童生徒の推移や状況を確認しながら準備を進める。また、通級指導教室では巡回による指導を拡充しているが、利用する児童生徒の数やニーズに応じて、新たな拠点校の開設や増級、巡回校の変更を検討していく。



〈特別支援学級の様子〉

## (5) いじめ問題等の対策の充実

### 1. 評価

事業名	いじめ問題等の対策の充実		
担当部署	指導課		
成果指標	自他を尊重する心の育成に向けて、いじめの早期発見、適切な対処を実践する。		
令和4年度目標	「全国学力・学習状況調査」の意識調査における質問項目 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する回答 「とてもそう思う、そう思う」の回答合計 98%		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	「全国学力・学習状況調査」の意識調査における質問項目「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する児童生徒の回答 「とてもそう思う、そう思う」の回答合計 小学校 95.4% 中学校 95.4%	「全国学力・学習状況調査」の意識調査における質問項目「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する児童生徒の回答 「とてもそう思う、そう思う」の回答合計 98%	「全国学力・学習状況調査」の意識調査における質問項目「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する児童生徒の回答 「とてもそう思う、そう思う」の回答合計 98%
令和4年度実績	・教師の指導力向上に向けて、生徒指導や情報モラルに関する研修を実施した。 ・「いじめメール相談」を「いじめ教えてメール相談」と名称を変更し、匿名での相談を可能とすることで、いじめを目撃した第三者からの相談も受けやすいようにした。 ・文部科学省の「生命(いのち)の安全教育推進事業」に応募し、あらゆる暴力から自分や他者を守り尊重するための学習プログラムを作成した。		
令和4年度評価	おおむね達成		

### 2. 分析

- ・「令和4年度目標」を変更した理由  
「浦安市小・中学生生活実態調査」における質問項目を指標としていたが、調査の実施が隔年であることが課題であった。小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施する「全国学力・学習状況調査」は、調査対象は減るものの、毎年実施することから、定期的に確認できる指標として変更した。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という意識が弱い児童生徒がいることは、個々の心の発達段階にも起因すると思われる。様々な児童生徒がいることを踏まえた上で、児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことである」という思いに至るよう、組織的、計画的に自他を尊重する心の育成を図っていく必要がある。SNS 利用では、相手を傷つけたという感覚が薄くなる例もあることから、発達段階に応じた情報モラルを高めることが課題である。また、人

との関わりの中で、自分が嫌な思いをした際に、暴力や暴言以外の解決方法を身に付けさせていく必要がある。

- ・自他を尊重する児童生徒の育成のため、教員の指導力向上のための研修を実施した。生徒指導主任や若年層教員を対象にした研修や希望研修において、生徒指導や情報モラル教育に関する内容を実施した。研修に参加した教員から「実際に授業や日常的な生徒指導に生かすことができた」との報告を受けたことから、いじめ防止のための教員の指導力向上に関して成果があったと捉えている。ただし、教員全体としては、いじめに対する認識や指導力に差がある。引き続き「いじめはいけないことである」という毅然とした指導や、人との関わり方や心の育成の指導力を身に付けていく研修を実施していく必要がある。
- ・「いじめ教えてメール相談」の相談件数は増加した。相談しやすい仕組みに変更したことや周知した成果と考える。相談者は主に保護者からの相談であった。各学校においても、いじめにあった児童生徒やいじめに気付いた児童生徒が、すぐに身近な大人や外部に相談、報告しやすい体制を整えていく必要がある。
- ・「生命（いのち）の安全教育推進事業」を実施した学校からは、児童の意識や行動の変化について報告があった。自他を尊重する心の育成に効果的であると捉えている。今後、子どもの実態に合わせて実施することで、様々な場面での対処方法を学ばせていく。

### 3. 参考実績

#### (1) いじめ防止につながる教員研修

- ・小中生徒指導主任会議 「いじめ問題等の現状及び取組の改善に向けて」
- ・2・3年目教員研修 「学級経営と学習指導のポイント」
- ・教育実践講座 「インターネットを通じたトラブルの現状と情報モラル教育に関する授業展開例」  
「生徒指導の初期対応について学ぶ」

#### (2) いじめ教えてメール相談件数 10件

過去のメール相談件数 令和2年度：2件、令和3年度：3件

### 4. 今後の方向性

以下の取組を実施しながら、児童生徒の自他を尊重する心の育成、いじめ防止につなげていく。

- ・教員研修は、学力向上と心の教育を両輪とするため、学年教科支援教員研修等、様々な教員や学習指導に関する研修において、生徒指導の機能を生かした授業づくりに関する内容を取扱い、各教員の生徒指導力向上を目指す。
- ・情報モラル教育に関しては、SNS等の利用について、学校が保護者会等の機会を捉えて、保護者へ留意事項の啓発ができるよう、動画やリーフレット等の資料を提供する。また、生徒指導主任会議等を利用して、子どもたちが主体的に考えられるような取組（例えば、SNSでの失敗例・効果的な活用例を事例集として作成する等）について、学校に提案し推進していく。
- ・各学校で実施するいじめアンケートの際に「いじめ教えてメール相談」を活用すること等、様々な活用の仕方を教職員に周知する。また、学習eポータルからメール相談を使えるようにすることで、児童生徒自身がメールフォームにすぐアクセスできるようにする。
- ・生命（いのち）の安全教育については、各学校で指導プログラムを活用し実践する。実践の結果を踏まえ、随時、指導プログラムを修正していく。

## (6) 日本語指導員の派遣

### 1. 評価

事業名	日本語指導員の派遣		
担当部署	指導課		
成果指標	日本語指導員の派遣申請数に対する日本語指導員の充足率を100%にする。		
令和4年度目標	日本語指導員の充足率を100%にする。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	日本語指導員の充足率 100%	日本語指導員の充足率 100%	日本語指導員の充足率 100%
令和4年度実績	日本語指導員の充足率は100%であった。 日本語指導を必要とする外国籍の児童生徒に指導員を派遣し、サポート体制を充実させることができた。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

令和4年度は、年度当初36名の派遣申請だったが、年度末には43名となった。日本語指導の必要な児童生徒は増加したが、日本語指導員の指導日を増やすことで、学校からの要望に応じた派遣を実施することができた。

コロナ緩和と長引くウクライナ侵攻の影響に伴い、外国からの転入児童が増えている。日本語での日常会話やコミュニケーションはできるが、学習用語が理解できないため授業に参加することに後ろ向きの児童生徒もいるため、日本語指導員も一緒に授業に参加しながら指導を行う場合もある。また、児童生徒自身の特性も含め、個別の課題もあるため関係課との連携が必要となる状況もある。児童生徒の日本語の習熟度の状況を踏まえ、日本語指導員の派遣日や時間を調整することで、サポート体制を継続させる。

### 3. 参考実績

#### ①申請件数及び派遣実績

小学校 9校 29名 中学校 6校 14名 派遣指導員 12名

#### ②学校ごとの人数

浦安小3名、南小4名、舞浜小3名、日の出小3名、明海小8名、高洲小2名、高洲北小3名、東野小1名、入船小2名、浦安中3名、堀江中3名、入船中2名、日の出中2名、明海中1名、高洲中3名

### 4. 今後の方向性

英語・中国語・モンゴル語・ウクライナ語・ネパール語など、多様な言語圏からの児童生徒がいる中、個別にカリキュラムを考えたり、教材を作成したりできるよう、指導員へ助言指導をしていくとともに、指導員の指導力の向上につながるよう、指導員同士が情報交換できる機会を設ける。

また、児童生徒の日本語の習熟度の状況から指導時間を調整し、一人一人の状況に応じた適切な指導を行う。

## (7) いちよう学級における教育機能の充実

### 1. 評価

事業名	いちよう学級における教育機能の充実		
担当部署	教育研究センター		
成果指標	学校に登校しない、登校できない児童生徒の居場所となるいちよう学級の教育機能を充実させ、学習指導・体験活動・グループ活動等を支援し、学校生活及び社会生活への適応を図る。		
令和4年度目標	いちよう学級を利用して学校等への復帰に向けた行動の変容が見られるようになった児童生徒 80%		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	いちよう学級を利用して学校等への復帰に向けた行動の変容が見られるようになった児童生徒 85.4%	いちよう学級を利用して学校等への復帰に向けた行動の変容が見られるようになった児童生徒 80%	いちよう学級を利用して学校等への復帰に向けた行動の変容が見られるようになった児童生徒 80%
令和4年度実績	<p>不登校やひきこもり傾向にある児童生徒についての家庭や学校からの相談に対し、個に応じたきめ細かな指導・援助を行うとともに、児童生徒に対しては、小集団での活動を通して、ゆるやかな学校復帰等を図ってきた。</p> <p>管理職やSLC、学級担任とケース会議や情報交換を行うなど、学校と連携して児童生徒の理解や指導・支援方法について、共通理解を図るようにしてきた。担任等の関わりで、学校等のつながりを持てるようになってきた児童生徒が増えてきた。</p>		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

学校に復帰できるようになったケースだけではなく、いちよう学級に登級して活動及び学習する時間が増えたり、訪問支援でかかわっていた児童生徒がいちよう学級を利用したり、学習支援部門に通えるようになったりするなど、いちよう学級を利用した児童生徒 164 名中、好転した児童生徒は 140 名だった。

好転した要因として、学習支援部門では、仲間づくりやコミュニケーションを目的とした交流活動や校外学習など体験的な学習を多く設定してきたこと、人と人とが触れ合う機会を定期的に設けてきたことなどで、子ども同士の結びつきや集団での学び、友だちとのかかわりに対して良い効果が生まれ、通級生の活動の幅が広がっている。また、学校との併用の児童生徒が多いことから、担任との面談等を含め、学校との連携を深めながら進めてきた。当該児童生徒の理解や課題、今後の対応について学校とともに、共通認識をもって進めることができ、通級生の意識の変化や学校への登校等にも効果が見られた。

教育相談部門では、今年度もスムーズに「教育相談」から「学習支援」に繋ぐために、教育相談員が

「教育相談」から「学習支援」の橋渡し役を担っている。「教育相談」の時間に「学習支援」の指導員が同席し、関係を築いてから「教育相談（個）」から「学習支援（集団）」へ移行したり、児童生徒が「学習支援」に通い始めた後も定期的に個別面談を行ってフォローアップしたりしている。さらに、教育相談に来談できなくなってしまった場合は、訪問支援と連携して、家まで迎えに行くことで、教育相談や学習支援に繋がったケースも複数あった。

訪問支援部門では、家庭に訪問して相談・支援をするだけでなく、外に出ることができる児童生徒には、いちょう学級への来所や学校への放課後登校・別室登校を促し、登級・登校の際には、訪問相談員が送迎を行うなど、様々なかかわりをしてきた。また、長年にわたる引きこもりケースばかりが訪問支援部門の対象となっているわけではなく、不登校傾向の児童生徒について、もう少し早く訪問支援に連絡があれば、児童生徒とつながることができるのではないかと思われるケースも見られた。令和4年度の新しい試みとして、訪問支援でかかわっている児童生徒の保護者を対象に、不登校について様々な悩みを抱えていた先輩保護者の体験談を聞いたり、進路についての情報を共有したりと、保護者同士が交流できる場として「いちょう学級保護者の集い」を開催した。

### 3. 参考実績

令和4年度利用状況

	教育相談	学習支援	訪問支援
猫実	141人	43人	23人
入船	99人	46人	
合計	240人	89人	

\*いちょう学級では、原則「教育相談」を利用したのち、「学習支援」及び「訪問支援」の利用を開始することになっており、「教育相談」の人数には、「学習支援」及び「訪問支援」の利用者数が含まれている。

### 4. 今後の方向性

いちょう学級は、学習支援・教育相談・訪問支援の3部門で運営し、いちょう学級猫実、いちょう学級入船の2教室において児童生徒、保護者、教育関係者に対し、相談活動を通しての支援を継続して行っている。引き続き各教室において、電話や来室等での教育相談、及び訪問支援の中でカウンセリングを行い、自己決定力の育成を支援する。

いちょう学級を利用する児童生徒の傾向として、低年齢化や1対1での個別での指導・支援を要する児童生徒が増えていることから、まなびサポートチームの医師相談等も活用するとともに特別支援教育の視点を生かした不登校支援・相談業務の充実を図っていく。

学校との連携については、学校といちょう学級を併用している児童生徒が多いことから、担任との面談等を含め、連携を引き続き深めていく。また、引き続きいちょう学級を利用している児童生徒の実態を踏まえながらICTを効果的に活用していく。

統括訪問相談員による引きこもり傾向のある児童生徒の家庭や学校に対しての働きかけとともに、個に応じたきめ細かな指導・援助を推進し、関係諸機関との連携による児童生徒の学校復帰・社会復帰の支援を継続して行っていく。



## (8) 学校給食費の無償化

### 1. 評価

事業名	学校給食費の無償化		
担当部署	保健体育安全課		
成果指標	学校給食費を無償化する。		
令和4年度目標	市が設置する小学校6年生と中学校3年生の児童生徒に係る学校給食費の無償化により、保護者の教育費の負担軽減を図る。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	第3子及び小6・中3 学校給食費の無償化実施	無償化拡充の検討	無償化拡充の実施
令和4年度実績	市が設置する小学校6年生と中学校3年生の児童生徒に係る学校給食費の免除を実施した。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

令和4年第1回定例会にて浦安市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例を上程し、令和4年3月23日に条例を施行したことで、令和4年度から市が設置する小学校6年生1,472名の児童と中学校3年生1,262名の生徒に係る学校給食費が免除となり、保護者の教育費の負担軽減が図れた。

なお、市が設置する小学校及び中学校に在学する第3子以降の児童生徒に係る学校給食費については、平成28年度より免除としている。

学校給食費の完全無償化については、市の今後の財政収支見通しと新たな財源を確保できるかなどが課題である。

### 3. 参考実績

- ・完全無償としている自治体

市川市、いすみ市、神崎町、多古町、東庄町、芝山町、横芝光町、長南町、大多喜町、鋸南町

- ・第3子以降減免については、千葉県公立学校給食費無償化支援事業補助金交付要綱の制定により、学校給食費無償化事業を実施する市町村に対し、千葉県より第3子以降の児童・生徒に要する学校給食費の半額が補助される。

### 4. 今後の方向性

今後の社会情勢を踏まえ、給食費の完全無償化の実現に向け検討を行っていく。

### 3 教育環境の向上

#### (1) 学校規模適正化事業

##### 1. 評価

事業名	学校規模適正化事業		
担当部署	教育政策課		
成果指標	「浦安市学校規模適正化基本方針」を踏まえ、学校規模の適正化に向けた取り組みとして、大規模校及び小規模校対策の検討を行う。		
令和4年度目標	平成30年度に策定した「浦安市学校規模適正化基本方針」を改訂するため、見直しを行い、小中連携教育の一層の推進や小中隣接校における学校の在り方、学校の適正配置について検証する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	基本方針を改訂するため、検討委員会を開催したほか、「特定地域選択制」の実施により、南小学校の教室数不足を抑えることができた。	策定した基本方針の有用性を高めるほか、適正配置についての新たな考え方を取り入れるため、現行の基本方針を改訂する。	改訂した基本方針に基づき、児童生徒数の推計を踏まえ、引き続き、学校規模及び適正配置について必要な検討を行う。
令和4年度実績	<b>【検討委員会開催状況】</b> (1) 学校規模適正化基本方針方針内部調整部会(庁内委員) 2回開催 (2) 学校規模適正化基本方針検討委員会(外部委員、庁内委員) 2回開催 <b>【特定地域選択制】</b> (1) 南小学校新1年制学級数 (予定) 5学級 ➡ (実際) 4学級		
令和4年度評価	おおむね達成		

##### 2. 分析

令和4年度「特定地域選択制」を利用し、南小学校に隣接する学校への就学を希望した令和5年度に新1年生となる児童が30人おり、各選択対象校への就学予定者は、浦安小14名、東小4名、東野小12名であった。その結果、南小学校の令和5年度の1年生は4学級となり、南小学校の教室数不足を抑えることができた。今後も「特定地域選択制」の効果を検証し、南小学校の学校規模の適正化を進める必要がある。

また、学校規模適正化基本方針検討委員会では、「児童生徒数の減少数(幅)」について、小規模校対策の手法を検討するよう議論されたことから、引き続き、学校規模が適正化されるよう、検討を行う。

### 3. 参考実績

令和5年5月 教育政策課

■ 児童数 単位：人

学校名	学年	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
南小学校	22年	126	135	139	133	116	113	107	116	118	115	113	115
	23年	156	122	135	139	133	116	113	107	116	118	115	113
	24年	156	150	122	135	139	133	116	113	107	116	118	115
	25年	154	156	150	122	135	139	133	116	113	107	116	118
	26年	166	149	156	150	122	135	139	133	116	113	107	116
	27年	144	167	149	156	150	122	135	139	133	116	113	107
	合計	902	879	851	835	795	758	743	724	703	685	683	684

■ 学級数 単位：室

学校名	学年	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
南小学校	22年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	23年	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	24年	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	25年	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	26年	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
	27年	4	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4
	合計	28	27	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24

…35人学級が導入された学年（4年生：2023年度から、5年生：2024年度から、6年生：2025年度から）

### 4. 今後の方向性

今後の児童生徒の推移によっては大規模化、小規模化が進んでいく可能性があり、その対応について、十分な検討が必要となる。なお、学校規模適正化の考え方については、これまでの基本方針を踏襲したうえで、小規模校対策がより幅広い選択肢のもと、学校や地域の現状や特色に合った形で検討されるよう、基本方針の改訂について、さらなる検討を行う。

また、20年、30年後の人口動態を見据えた学校施設の活用についても検討する必要がある。

## (2) 認定こども園・幼稚園改修事業

### 1. 評価

事業名	認定こども園・幼稚園改修事業		
担当部署	保育幼稚園課		
成果指標	認定こども園・幼稚園既存園舎の老朽化の度合いに応じた改修工事を実施し、施設機能の維持・更新を図る。		
令和4年度目標	園舎の安全性の確保や老朽化などに対応するため、美浜南認定こども園の改修工事を行い、入船南認定こども園改修工事の設計業務を行う。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	改修工事 1園 設計業務 1園	改修工事 1園 設計業務 2園	改修工事 2園 設計業務 2園
令和4年度実績	美浜南認定こども園の改修工事を行うとともに、入船南認定こども園について、診断・設計業務を行った。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

美浜南認定こども園の改修工事は、園児の安全性や運営に支障がないよう、主に土曜、日曜、祝日や夏休み中に作業を行った。入船南認定こども園について、改修整備を進めるに当たり、以前に実施した耐震診断結果を確認したところ、数値の把握方法に認識の誤りがあり、耐震性能を満たしていない状態であったため、直ちに耐震診断を実施した上で必要な補強工事を進めるため、診断業務も行った。他の認定こども園・幼稚園に同様の認識の誤りによる耐震性能を満たしていない施設はなかった。

### 3. 参考実績

改修（美浜南認定こども園）

工事概要：内装の部分改修、外装の一部改修（部分的補修）、園児用トイレの全面改修（湿式→乾式化）、電気設備改修（放送設備、自火報設備（感知器）、コンセント・スイッチ）、機械設備改修（換気設備、トイレ部の給排水衛生設備改修）

設計（入船南認定こども園）

工事概要（予定）：内装（床・壁）の部分改修、屋上防水・外壁改修、トイレの全面改修（湿式→乾式化）、電気設備改修（自火報設備（感知器）、便所改修のためのコンセント・弱電設備改修）、機械設備改修（流し更新に伴う給排水改修、便所改修のための給排水・衛生設備改修）、構造改修（耐震スリット、梁補強、開口塞ぎ）

### 4. 今後の方向性

認定こども園・幼稚園の改修については、園児数が減少傾向にあるため施設の適正な規模や配置、地域ニーズなども踏まえ、統合等、慎重に検討する必要がある。

### (3) 小・中学校改修事業

#### 1. 評価

事業名	小・中学校改修事業		
担当部署	教育施設課		
成果指標	小・中学校施設の老朽化に対応し教育環境改善を図るため、施設改修を計画的に進める。		
令和4年度目標	令和4年度の改修計画として2校の工事、及び2校の設計を実施する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	〔改修〕 富岡中学校 美浜中学校 〔設計〕 美浜南小学校 日の出小学校	〔改修〕 美浜南小学校 美浜中学校 〔設計〕 美浜南小学校 日の出小学校 舞浜小学校 東小学校	〔改修〕 美浜南小学校 舞浜小学校 東小学校 〔設計〕 舞浜小学校 東小学校
令和4年度実績	富岡中学校校舎の改修工事、美浜南小学校校舎、日の出小学校校舎の改修設計を実施した。また、美浜中学校校舎の改修工事に着手した。		
令和4年度評価	達成		

#### 2. 分析

令和3年度に実施したファシリティマネジメント調査の結果による施設性能評価では、小学校、中学校共通で、劣化・不具合の内容を確認しながら計画的な対応が必要という評価が約9割である。

校舎等の建築物については、令和3年3月に策定した浦安市学校施設長寿命化計画の基本方針である耐用年数の目安となっている竣工後60年を迎えた時点で劣化調査を実施し、長寿命化(75年程度の使用)に向けて必要な改修を行うこととしている。

令和4年度は、富岡中学校校舎の施設の安全性の確保や老朽化などに対応するため、屋上防水や外壁補修、耐用年数を越えた設備機器の更新等、学校施設の機能回復を主とした改修を行った。また、美浜中学校校舎についても、施設の安全性の確保や老朽化などに対応するため、建築物、設備機器の機能回復を主とした改修に着手した。

### 3. 参考実績

＜富岡中学校校舎 主な改修実績＞

- （建 築） 屋根防水改修、外壁改修、建具改修、内部仕上げ改修、塗装改修、家具改修
- （電気設備） 動力設備改修、拡声設備改修、構内交換設備改修
- （機械設備） 換気設備改修、給排水衛生設備改修、消火設備改修

### 4. 今後の方向性

今後の改修については、前例に習い機能回復を主とした整備を原則とするが、「安全性」、「快適性」、「学習活動への適応性」、「環境への適応性」及び「地域の拠点化」の学校施設の目指すべき姿の視点から、施設の状況に応じ、機能の向上となる整備も合わせて行うこととする。

〈改修項目案〉

	改修工事項目	
	機能回復	機能向上
建築	①構造躯体改修、②屋根防水改修、③外壁改修 ④建具改修、⑤内部仕上げ改修、⑥塗装改修 ⑦家具改修、⑧アスベスト対策 ⑨その他不具合箇所の改修	①バリアフリー化 ②省エネ化 ③高耐久・断熱化 ④諸室の追加、配置変更
電気設備	①受変電設備改修、②動力設備改修 ③電灯設備改修、④拡声設備改修 ⑤防犯設備改修、⑥情報・通信設備改修 ⑦防災設備改修、⑧その他不具合箇所の改修	①省エネ化 ②高耐久化 ③高効率化
機械設備	①空調設備改修、②換気設備改修 ③給排水衛生設備改修、④消火設備改修 ⑤ガス設備改修、⑥昇降機設備改修 ⑦その他不具合箇所の改修	①省エネ化 ②高耐久化 ③高効率化

## (4) 防災教育の推進

### 1. 評価

事業名	防災教育の推進		
担当部署	保健体育安全課		
成果指標	災害時における的確な避難行動をとることができるとともに、他者の安全に留意し、状況に応じて行動することができる児童生徒を育成する防災教育を実践する。		
令和4年度目標	地域における防災力をより一層高めていくため、児童生徒が自らを災害から守る「自助」、お互いに協力して地域を災害から守る「共助」の意識向上を図る。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	各校年2回の防災訓練の実施	各校年2回の防災訓練の実施	各校年2回の防災訓練の実施
令和4年度実績	市内小中学校では、すべての学校で防災訓練を2回以上実施した。避難訓練や引き渡し訓練等を行うだけでなく、防災に関する学習を教科(理科・社会等)や特別活動、総合的な学習の時間等で計画的に行い、児童生徒の防災意識の充実を図った。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

各小学校では3・4年生の総合的な学習の時間等において「安全マップ」などの作成、中学校では教科(理科・社会)等において、自然災害について触れるなど児童生徒に対して計画的に防災教育に取り組んだ。

小中学校における防災に関する訓練(避難訓練等)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から制限のある状況であったが、令和3年度の経験を活かし、方法を工夫して全校で実施した。

今後は、日常の生活の場で防災に対する意識をもち、学校での学びが実生活の場で活用され、自分の身は自分で守ることができるよう学校での取り組みをさらに充実させていくことが必要である。

### 3. 参考実績

令和3年度小中学校生活実態調査

質問:「地震や火災が起こった時の安全な行動について家族で話し合っている」

回答:「とてもそう」「まあそう」・・・小学校:64.8%、中学校:58.9%

### 4. 今後の方向性

各学校において、必要に応じて「学校安全計画」及び「学校防災(地震)対応マニュアル」の見直しを図るよう引き続き促すとともに、各学校における防災教育に関する年間指導計画等の作成および防災教育の計画的な実践が行われるよう促していく。

また、防災強化月間の周知や防災訓練等の案内において、各家庭での防災に対する確認等の実施を促す内容を踏まえるよう各校への周知を図る。

## (5) 小・中学校エアコン更新事業

### 1. 評価

事業名	小・中学校エアコン更新事業		
担当部署	教育施設課		
成果指標	平成 20 年度、21 年度にて整備した小・中学校の普通教室等のエアコン機器の耐用年数である 13 年を経過することから、これの更新を行う。		
令和 4 年度目標	エアコン更新事業の 1 期として、令和 4 年度は小学校 4 校、中学校 8 校の設計を実施する。		
実績値・目標 (3 か年)	令和 4 年度 (実績)	令和 5 年度 (目標)	令和 6 年度 (目標)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 期設計</li> <li>小学校 4 校</li> <li>中学校 8 校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 期設計</li> <li>小学校 12 校</li> <li>・ 1 期改修</li> <li>小学校 4 校</li> <li>中学校 8 校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 期改修</li> <li>小学校 12 校</li> <li>・ 1 期改修(継続)</li> <li>小学校 4 校</li> <li>中学校 8 校</li> </ul>
令和 4 年度実績	小学校 4 校、中学校 8 校の設計を実施した。		
令和 4 年度評価	達成		

### 2. 分析

エアコンの耐用年数(13 年)を経過する機器を対象に更新工事の設計を行った。設計にあたり、エアコン設置個所の熱負荷計算をあらためて行い、設計に反映させた。

### 3. 参考実績

エアコン更新工事設計(1 期)の対象校

(小学校)浦安、南、北部、高洲

(中学校)浦安、堀江、見明川、入船、富岡、美浜、日の出、明海

### 4. 今後の方向性

1 期のエアコン更新工事を行うとともに、2 期のエアコン更新工事設計を行う。

エアコン更新工事設計(2 期)の対象校

(小学校)見明川、富岡、美浜南、東、入船、舞浜、美浜北、

日の出、明海、日の出南、高洲北、東野



## (6) 千鳥学校給食センター次期事業検討事業

### 1. 評価

事業名	千鳥学校給食センター次期事業検討事業		
担当部署	保健体育安全課		
成果指標	千鳥学校給食センター第一・第二・第三調理場の次期事業の実施に向け、施設の修繕や設備の更新を見据えた事業手法を検討し、事業者の募集を行う。		
令和4年度目標	次期事業における基本方針を作成するための調査を行う。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	施設の現状把握及び調査	基本方針の作成	事業者の募集
令和4年度実績	施設、設備、調理機器等の現況調査を行い、給食関係者からの意向調査や設備等の劣化等調査を実施した。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

千鳥学校給食センターの次期事業の検討において、前提条件の整理、給食関係者等からの意向調査検討、施設調査を実施した。

令和4年8月5日及び8月24日に目視による施設調査及び資料による調査を実施し、第一・第二調理場では、施設設備で6項目、「至急の修繕・更新が必要」または、「緊急性はないが修繕・更新が必要」との評価であった。また、厨房機器では、年数経過から、すべての厨房機器で「至急の修繕・更新が必要」があるとの評価であった。

第三調理場では施設設備で2項目、「至急の修繕・更新が必要」または、「緊急性はないが修繕・更新が必要」との評価であった。また、厨房機器では、第一調理場同様、すべての厨房機器で「至急の修繕・更新が必要」があるとの評価であった。

第一・第二調理場長期包括責任委託事業及び第三調理場 PFI 事業は、民間事業者のノウハウを生かし、HACCP（ハサップ）の概念を取り入れた高度な衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食の提供ができていますが、今後、施設修繕や設備更新を見据えた事業手法を検討する必要がある。

### 3. 参考実績

#### (1) 施設調査

施設調査は、現地での目視確認により実施した。特に、既存資料の確認や栄養士・調理員からのヒアリング結果により指摘のあった箇所については重点的に劣化等の確認を行った。

[劣化等調査の実施概要]

	第一、第二調理場	第三調理場
実施期間	令和4年8月5日(金)	令和4年8月24日(木)
実施方法	目視確認	目視確認
調査対象	建築設備：躯体、屋根、外壁、内壁・天井・床、外部建具、内部建具、外部(外構・外部付属物)	建築設備：躯体、屋根、外壁、内壁・天井・床、外部建具、内部建具、外部(外構・外部付属物)
	電気設備：電灯・電話設備、受変電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他設備	電気設備：電灯・電話設備、受変電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他設備
	機械設備：空気調和・換気・排煙設備、給排水・衛生・給湯設備、消火設備、エレベーター設備	機械設備：空気調和・換気・排煙設備、給排水・衛生・給湯設備、消火設備、エレベーター設備

#### (2) 資料による確認

設備機器類の機能・性能について目視で判断できないものについては、以下の資料を用いて評価した。

- ・風量測定調整結果報告書(令和3年2月)
- ・第一二調理場維持管理業務報告書(令和4年8月)
- ・第一二調理場維持管理業務報告書(令和4年8月)
- ・第三調理場維持管理業務報告書(令和4年8月)

### 4. 今後の方向性

令和4年度、5年度における様々な調査、検討を経て、千鳥学校給食センター次期事業方針を作成し、令和6年度、7年度に次期事業の事業者を募集する。

#### 4 地域とともに子どもを育む体制の推進

##### (1) コミュニティ・スクールのあり方検討

###### 1. 評価

事業名	コミュニティ・スクールのあり方検討		
担当部署	教育政策課		
成果指標	本市におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）のあり方や設置の方向性について示す。		
令和4年度目標	検証校において、浦安型コミュニティ・スクール（合同会議）を設置し、その運営体制を構築する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度（実績）	令和5年度（目標）	令和6年度（目標）
	検証校において、浦安型コミュニティ・スクール（合同会議）を設置し、その運営体制を検証した。	検証校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置に向けた実践を行い、運営体制を検証する。	市内全小中学校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置する学校）を導入する。
令和4年度実績	検証校（小学校1校、中学校1校）において、学校と地域との連携の在り方について協議する合同会議を各校4回開催したなかで、本市におけるコミュニティ・スクールの在り方や設置の方向性について検証を行った。		
令和4年度評価	達成		

###### 2. 分析

本市では、「学校評議員制度」や「学校支援コーディネーター」などの仕組みにより、地域と学校の連携を推進してきた。その様々な学校支援の取組をベースとし、段階的にコミュニティ・スクールに発展していく過程として、既存の会議体を活用して「合同会議」を設置し、地域全体で子どもを育むことを目的とする「浦安型コミュニティ・スクール」の導入について検討してきた。

令和4年度は、検証校（明海小、日の出中）において、合同会議を各校4回開催し、学校運営の基本方針を共有したり、学校と地域との連携の在り方について協議したりした。具体的な成果として、防災教育における自治会の協力やキャリア教育における地域との新たな協力を得られた事例があった。

### 3. 参考実績

令和4年度 浦安型コミュニティ・スクール検証校における合同会議の内容

回	明海小学校	日の出中学校
1	6月6日(月) 18:00～ ○ 概要説明…浦安型コミュニティ・スクールの概要等について ○ 自己紹介 ○ 委員長・副委員長の選出 ○ 協議 (1) 令和4年度学校運営について (2) 今年度の合同会議の方向性について ○ その他 (1) 今後の合同会議の予定について (2) 学校連絡窓口について	6月16日(木) 16:00～
2	9月9日(金) 18:00～ ○ 協議 (1) 学校支援メニューについて (2) LINE WORKSの活用について ○ 情報共有(各委員、各所属より)	10月20日(木) 13:30～ ○ 学校参観…合唱祭りハーサル参観 ○ 協議 (1) 生徒が地域に対して貢献できることについて (2) 周年行事の取組について ○ 情報交換
3	12月9日(金) 10:30～ ○ 学校参観…合唱祭りハーサル参観 ○ 協議 (1) 学校評価の実施について (2) 学校と地域との連携について ○ 情報共有(各委員、各所属より)	12月16日(金) 13:30～ ○ 学校参観…いのちの教室講演会参観 ○ 協議 (1) 今後の会議の内容と取組について (2) 学校の現状について ○ 情報共有(各委員、各所属より)
4	3月2日(木) 9:30～ ○ 学校参観…6年生を送る会参観 ○ 協議 (1) 学校評価の結果について (2) キャリア教育について ○ 情報共有(各委員、各所属より) ○ 給食試食会	3月16日(木) 16:00～ ○ 協議 (1) 学校評価について (2) 今年度の合同会議についてと次年度の取組について ○ 情報共有(各委員、各所属より)

### 4. 今後の方向性

検証校における取組の結果から、本市のこれまでの地域と学校の連携の仕組みを土台として、学校運営協議会を設置する「コミュニティ・スクール」を導入することが十分に可能であると考え、令和6年度に市内全小中学校において、導入することとした。

学校評議員制度を発展的に学校運営協議会制度に移行することで、従来の地域と学校との関係性を保持しつつ、さらに発展した体制づくりが期待できる。

令和5年度は、検証校において、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置に向けた実践を行い、その取組の様子や制度の在り方について、研修会等を通して市内小中学校に伝え、全校への導入の準備を進める。

## 第3節 生涯学習

### 1 市民一人ひとりが学ぶ機会の充実

#### (1) (仮称) 子ども図書館等整備事業

##### 1. 評価

事業名	(仮称) 子ども図書館等整備事業		
担当部署	生涯学習課		
成果指標	子どもの自主的な読書活動の推進拠点となる (仮称) 子ども図書館を整備する。		
令和4年度目標	児童生徒の読書習慣やコロナ禍における図書館の利用状況、子ども図書館に求める機能と設備等へのニーズを把握し、施設の機能や設備、サービスを見直し、検討する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	小中学生への調査 必要な施設機能の検討	施設機能の検討	基本設計の修正
令和4年度実績	新町地域の公共施設用地等導入機能庁内検討委員会において、新町地域に必要な機能を検討した。また、児童生徒の読書習慣やコロナ禍における図書館の利用状況、子ども図書館に求める機能と設備へのニーズを把握するため、市内の市立小中学校の児童生徒に対して調査を実施した。		
令和4年度評価	おおむね達成		

##### 2. 分析

児童生徒を対象とした調査の結果から、コロナ禍においては、読書時間や読書冊数が増えた児童生徒がいる一方で、市立図書館に行かなかった児童生徒が半数を超えていたことがわかった。また、インターネットの利用や視聴時間が増えたなど、市立図書館の利用や児童生徒の読書と読書環境に影響が見られた。

(仮称) 子ども図書館の施設の機能については、ゆっくりくつろいで読書をしたり、のんびり過ごせる場所、友だちと会話ができる場所といった要望が多く、高学年の児童や中学生が来館したくなるような場所へのニーズがあると考えられる。

##### 3. 参考実績

(仮称) 子ども図書館についての調査を実施

実施期間…令和4年7月6日(水)～19日(火)

調査対象…小学校全17校5～6年生全クラス、中学校全9校1～3年生全クラス

回答数…小学校:2,496件、中学校3,111件 合計5,607件

##### 4. 今後の方向性

令和5年度は、子育て支援機能を備えた複合施設として検討する方向で、新町地域の公共施設用地への導入機能に関する市民の声や、子育て支援施設整備等の考え方を受けて、関係各課と(仮称)子ども図書館の施設機能の見直しをしていく予定である。

## 2 市民がつながり交流する機会の充実

### (1) 舞浜地区公民館整備事業

#### 1. 評価

事業名	舞浜地区公民館整備事業		
担当部署	生涯学習課		
成果指標	舞浜地区における生涯学習ニーズに対応するため、舞浜ポンプ場の建て替えに合わせ、敷地を有効活用して、(仮称)舞浜地区公民館を整備する。		
令和4年度目標	(仮称)舞浜地区公民館の整備に向けて、地域住民等のニーズなどを踏まえながら、基本計画を策定する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	基本計画の策定	基本設計	実施設計
令和4年度実績	<p>8月末に2回開催した住民説明会での意見や、8月から9月にかけて行った市民アンケートの結果などを踏まえ、4回開催した庁内検討委員会等により基本計画の検討を行った。</p> <p>令和5年2月1日から3月2日まで実施したパブリックコメントを経て、令和5年3月末に基本計画を策定した。</p>		
令和4年度評価	達成		

#### 2. 分析

現在、市内には、7つの公民館があるが、舞浜地区は、各公民館への距離が遠いため、かねてより、住民から公民館整備を望む声が寄せられていた。

そのような中、舞浜ポンプ場が、老朽化への対応や耐震性能の向上を目的に建替えをすることになり、舞浜ポンプ場の敷地内に一定の土地が確保できる見通しがたったことから、地域の生涯学習ニーズに対応するため、(仮称)舞浜地区公民館の整備を行うこととなった。

令和4年度は、8月28日(日)及び31日(水)に開催した住民説明会での意見や、8月から9月にかけて行った市民アンケートの結果、また既存の7つの公民館の「室・場」の稼働率などを踏まえ、4回開催した庁内検討委員会等により基本計画の検討を行った。

(仮称)舞浜地区公民館の敷地面積は544㎡であり、他の公民館と比べて、面積的に整備できる部屋が限られるため、アンケート調査において、最もニーズが高かった「図書スペース」と2番目にニーズが高かった「多目的室」を配置するとともに、間仕切り等によって部屋の大きさが変えられる「会議室」や、子育て世代の方でも安心して利用できるように「保育室」を配置する計画とした。

基本計画は、令和5年2月1日から3月2日まで実施したパブリックコメントを経て、予定していたスケジュールのとおり、令和5年3月末に策定となった。

### 3. 参考実績

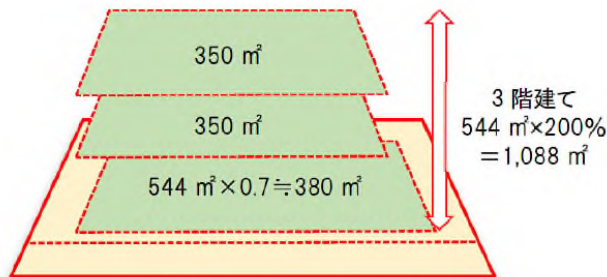
- (1) 住民説明会参加者 合計 93 人  
内訳：1 回目（令和 4 年 8 月 28 日（日）10:00～11:30）72 人  
2 回目（令和 4 年 8 月 31 日（水）19:00～20:30）21 人
- (2) アンケート調査回答数 727 人  
※実施期間：令和 4 年 8 月 22 日（月）～9 月 5 日（月）
- (3) パブリックコメント受付件数 27 件（意見提出実人数 9 人）  
※意見の反映結果  
A：意見を受けて加筆・修正したもの 0 件  
B：案に意見の考え方が概ね含まれていたもの 13 件  
C：案に意見の考え方が一部含まれていたもの 5 件  
D：案に意見の考え方が反映・修正しなかったもの 2 件  
E：うち計画案に関連する質問などその他のもの 7 件  
※実施期間：令和 5 年 2 月 1 日（水）～3 月 2 日（木）

### 4. 今後の方向性

令和 4 年度に策定した基本計画を基に、令和 5 年度は基本設計、令和 6 年度は実施設計を行い、令和 7 年度より建築工事を予定している。

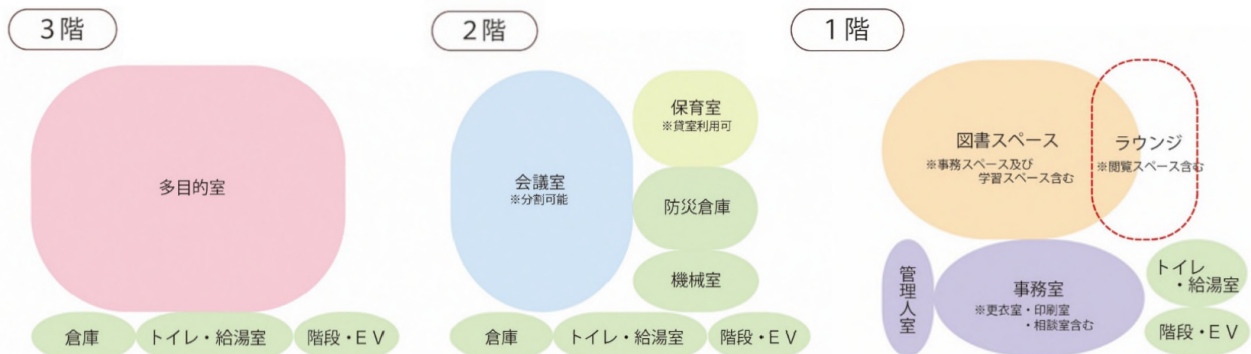
舞浜ポンプ場の建替事業と並行して事業を行うため、お互いに調整し、連携を図りながら、事業を進めていく必要がある。

(建物のイメージ)



※床面積を最大限かつ効率的に利用できる  
3階建てを想定します。

(階層構成のイメージ)



## (2) ものづくり環境整備事業

### 1. 評価

事業名	ものづくり環境整備事業		
担当部署	中央図書館		
成果指標	デジタルファブリケーション機器を中心とした工房機能を備えたファブスペースを整備し、子どもから高齢者まで幅広い市民がものづくりを通じて個性や能力を發揮できる環境を提供する。		
令和4年度目標	令和5年度開設に向けた整備方針の検討		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	ファブスペースの整備方針の決定	ファブスペースの整備を行い、開設する	ファブスペース利用者数 350人
令和4年度実績	<p>令和5年度末のファブスペース開設を目指し、他市事例の調査や民間施設の見学を行った。</p> <p>「浦安市ファブスペース整備方針」及び「浦安市ファブスペース整備検討業務委託報告書」を作成した。</p> <p>令和5年度当初予算の計上及び内閣府による「デジタル田園都市国家構想交付金」を申請した。</p>		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

令和4年度は、ファブスペースの整備について検討した。

#### ① 整備場所の選定

選定方針として、以下の要件を考慮し、市内施設の候補選定を行った。

- ・子どもからお年寄りまで幅広い世代の市民が活用しやすい場所であるか
- ・建物の構造や仕様が機器の設置環境として適しているか
- ・周辺環境への影響、隣接する部屋や施設の機能とマッチしているか

上記の要件を満たす場所として中央図書館に整備を行うことに決定した。

#### ② 導入機器の選定

機器の選定基準として、幅広い年齢層の工作初心者の方でもなるべく簡単に、安全に操作が可能な機器という観点から、3Dプリンターやレーザーカッターを中心としたデジタルファブリケーション機器で、かつファブリケーション施設での利用が高い機器を選定した。

そのほか、中央図書館の既存機能との親和性という観点で、オリジナルの本やノートが製本できる卓上製本機や裁断機、複合機(プリンター)を選定した。



### 3. 参考実績

令和3年度 ファブスペースの整備に向けた調査として、Uモニによるアンケートを行った。

登録者数：1,507人

実施期間：令和4年2月25日（金）～3月3日（木）

回答者数（回答率）：922人（61.2%）

（以下抜粋）

問：デジタルファブリケーション機器（3Dプリンター、レーザーカッターなど）に興味がありますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問2. デジタルファブリケーション機器（3Dプリンター、レーザーカッターなど）に興味がありますか。	1. 興味がある	544	922	59%	
	2. 興味がない	211		23%	
	3. わからない	167		18%	

「興味がある」と答えたモニターが59%と最も多く、「興味がない」は23%「わからない」は18%だった。

問：デジタルファブリケーション機器を備えたものづくりスペースがあれば、利用してみたいと思いますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問6. デジタルファブリケーション機器を備えたものづくりスペースがあれば、利用してみたいと思いますか。	1. 利用したい	162	922	18%	
	2. 機器の使用方法を教えてもらえるなら利用したい	517		56%	
	3. 利用したくない	72		8%	
	4. わからない	162		18%	
	5. その他	9		1%	

「利用したい」が18%、「機器の使用方法を教えてもらえるなら利用したい」が56%と、7割以上のモニターが利用したいと思っていることがわかった。

問：デジタルファブリケーション機器を備えたものづくりスペースにどのようなものがあればよいと思いますか。【複数選択可】

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問8. デジタルファブリケーション機器を備えたものづくりスペースにどのようなものがあればよいと思いますか。【複数選択可】	1. ものづくり講座	702	922	76%	
	2. 熟練者によるアドバイス	479		52%	
	3. 作品の展示スペース	174		19%	
	4. 利用者の交流スペース	187		20%	
	5. 起業支援サービス	92		10%	
	6. わからない	104		11%	
	7. その他	11		1%	

「ものづくり講座」と回答したモニターが76%と最も多く、次いで「熟練者によるアドバイス」が52%、「利用者の交流スペース」が20%、「作品の展示スペース」が19%だった。

### 4. 今後の方向性

開設に向けて、防音工事を伴った工事を行うと同時に、運用方法の詳細を決定する。さらに、運用にあたっては、専門的な知識の習得が不可欠であることから、職員の研修を体系的に進めていくため、機器等の導入事業者による職員への研修を令和6年度も引き続き行っていく。また、学校や地域団体などとの連携を進め、利用促進を図っていく。

## 第4節 文化

### 1 歴史・伝統文化の保存・継承

#### (1) 郷土博物館展示リニューアル事業

##### 1. 評価

事業名	郷土博物館展示リニューアル事業		
担当部署	郷土博物館		
成果指標	漁師町時代の浦安の歴史や文化を後世に伝え残すことをコンセプトにしてきた、これまでの常設展示に、埋め立て事業以降の歴史や文化、まちの発展を伝える展示を加えるため、常設展示等のリニューアルを行い、市民にサービスを提供する。		
令和4年度目標	展示リニューアル事業については、3か年の継続事業で行う。令和3年度に事業に着手し、テーマ展示室については令和4年度中に整備する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	整備(テーマ展示室リニューアル)	整備(船の展示室・企画展示室の部分改修等)	—
令和4年度実績	令和5年4月1日のオープンに向け、テーマ展示室を「浦安の原風景」、「漁師町浦安」、「新しい町浦安」、「浦安の自然」の4つのテーマ構成でリニューアル工事を完了した。		
令和4年度評価	達成		

##### 2. 分析

郷土博物館テーマ展示室を、これまでの漁師町浦安から漁業権放棄の展示に加え、海面埋め立て後の50年の町の発展を対比的に配置した。令和4年度は当初の目的どおり「浦安の原風景」、「漁師町浦安」、「新しい町浦安」、「浦安の自然」の4つのテーマ構成で検討・施工を進めた。テーマごとに展示の竣工図、展示資料のレイアウト図、シナリオ作成等を行い、詳細を詰めていき、展示方法として実物資料、模型のほか、「浦安の原風景」及び「新しい町浦安」等では映像装置を使用し、メリハリをつけた展示とした。令和5年3月にテーマ展示室のリニューアルを完了し、4月1日にオープニングセレモニーを実施した。

##### 3. 参考実績

平成30年度 浦安市郷土博物館展示リニューアル基本構想の策定を行った。

令和元年度 浦安市郷土博物館展示基本設計、実施設計を実施した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、事業の実施を見送った。

令和3年度 3か年の継続費予算を令和3年6月に計上した。

令和4年度 テーマ展示室のリニューアル工事を行い、令和5年3月に完了した。

##### 4. 今後の方向性

令和5年度は、船の展示室及び企画展示室の部分改修等を行い、10月末に完了する予定である。

## 2 市民が文化芸術に触れる機会の充実

### (1) 街頭パフォーマンスライセンス事業

#### 1. 評価

事業名	街頭パフォーマンスライセンス事業		
担当部署	生涯学習課		
成果指標	音楽やダンスなどの芸術活動を通してまちのにぎわいの創出と魅力の向上を図るため、街頭パフォーマーの更新と募集を行い、街かどステージ（現在、新浦安駅前ステージのみ）の利用を促進する。		
令和4年度目標	<p>パフォーマー認定者のライセンス更新と、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度から休止していた新規募集の再開により、街かどステージの利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭パフォーマー認定者 （50 団体）</li> <li>・ステージ利用件数 （60 件）</li> </ul>		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度（実績）	令和5年度（目標）	令和6年度（目標）
	街頭パフォーマー認定者 (47 団体) ステージ利用件数 (46 件)	街頭パフォーマー認定者 (60 団体) ステージ利用件数 (70 件)	街頭パフォーマー認定者 (70 団体) ステージ利用件数 (80 件)
令和4年度実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は5月末まで街かどステージの利用を休止していたが、6月から再開し、46件の利用があった。</p> <p>3年ぶりに街頭パフォーマーの新規募集を行い、令和4年11月8日の審査会で、9団体を街頭パフォーマーに認定した。</p>		
令和4年度評価	おおむね達成		

#### 2. 分析

街頭パフォーマー認定者数については、10月に新規募集を3年ぶりに行い、11月8日に審査会を開催した結果、9団体を認定した。令和4年度末の認定者数の合計は47団体となったが、目標の50団体に達しなかった。

令和4年度は6月から利用を再開し、10か月で46件の利用があった。12月1日からは新規に9団体を認定したが、目標である60件に達しなかった。

活動実績がない街頭パフォーマーが多数存在するため、活動促進につながる方策を検討する。

### 3. 参考実績

街頭パフォーマー認定者のライセンス更新 38 団体更新（9 月 1 団体辞退）

浦安市街頭パフォーマンスライセンス審査会開催（11 月 8 日） 9 団体を認定

		令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
登録団体（登録人数）		47 団体（109 名）	40 団体（99 名）	40 団体（99 名）
ステージ利用実施件数		46 件	0 件	10 件
（内訳）	音楽演奏・歌	28 件	0 件	1 件
	演劇・演芸	8 件	0 件	2 件
	大道芸・路上アート	10 件	0 件	7 件

### 4. 今後の方向性

- ・令和 5 年度以降も、毎年度、街頭パフォーマーの新規募集を行う。
- ・活動実績がない街頭パフォーマーが多数存在するため、活動促進につながる方策や更新条件の見直し等を検討する。
- ・街かどステージを増やし、街頭パフォーマーの活動場所の拡充を検討する。



〈ステージの様子〉

## (2) 浦安アートプロジェクト事業

### 1. 評価

事業名	浦安アートプロジェクト事業		
担当部署	生涯学習課		
成果指標	東京藝術大学と連携して行うアートプロジェクトにより、市民とともに、アートによる新たな価値の創出や街の魅力の向上、地域や社会の課題解決のきっかけづくりをしていく。		
令和4年度目標	アートプロジェクトの初年度であるため、キックオフイベントやワークショップ等の企画・開催により、アートプロジェクトの目的を市民に周知し、事業への参加を促進する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	検討・実施	実施	実施
令和4年度実績	東京藝術大学と連携事業に関する覚書を締結し、キックオフイベントやポンプ場に着目したワークショップ、「水」をテーマにしたドキュメンタリー映像作品上映展(映像上映・トークイベント)を開催した。 東京藝術大学が中心となって行う「共生社会」をつくるアートコミュニケーション共創拠点に市が参画した。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

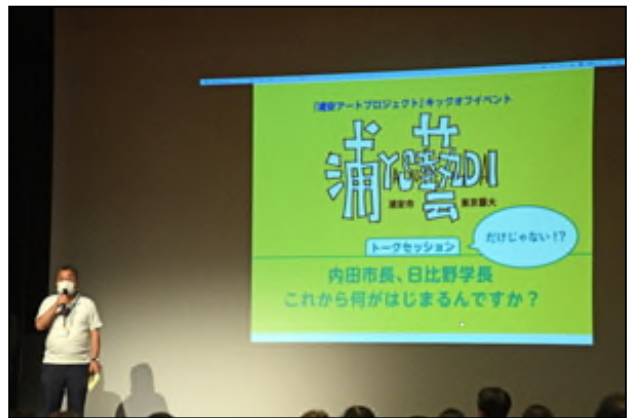
令和4年度は浦安アートプロジェクトの初年度であったため、キックオフイベントを行い、市民への事業周知を行った。また、水害の歴史や排水施設の役割等を学び、新橋ポンプ場に絵を描くアートワークショップを開催し、本市の課題の1つである防災(水害)について参加者と課題を共有することができた。さらに東京藝術大学 DOOR プロジェクトの受講生が市内でインタビューや撮影を行って制作したドキュメンタリー映像作品の上映展を開催し、本市の魅力の再発見につなげることができた。東京藝術大学との連携事業に対し、参加者からの満足度は高く、次回の事業に期待する声がきかれた。

### 3. 参考実績

イベント名	キックオフイベント (9/3)	ワークショップ (11/20 2回開催)	ドキュメンタリー映像作品 上映展(2/19~25)
参加人数	126人	59人	433人

#### 4. 今後の方向性

令和5年度は、市の課題等に対するワークショップやシンポジウム等の開催を予定している。アートプロジェクトの周知と、市民が興味を持ち、ともに市の魅力の向上や課題を考える機会となるプログラムを実施していく。



〈キックオフイベントの様子〉

〈ワークショップの様子〉



〈ドキュメンタリー映像作品  
上映展の様子〉



## 第5節 スポーツ

### 1 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実

#### (1) eスポーツの推進

##### 1. 評価

事業名	eスポーツの推進		
担当部署	市民スポーツ課		
成果指標	eスポーツを通して、子どもたちが ICT への興味・関心を持つきっかけとなることや、新たな文化づくりの一翼となるよう eスポーツ大会の開催を支援する。		
令和4年度目標	令和元年度に引き続き、浦安市内で開催される e スポーツ大会について支援を進めていく。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	大会支援	大会支援	大会支援
令和4年度実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、浦安市内での開催とならず、オンライン開催であったが、令和元年度からの実績を考慮し、浦安市教育委員会後援を行うことで大会を支援した。 また、当該大会は約6,700名が参加する盛大な大会となった。		
令和4年度評価	達成		

##### 2. 分析

本市のeスポーツに対する需要が少ないことから、市民の関心や理解を深めるためには、「見るスポーツ」の機会と場を提供することが必要である。

##### 3. 参考実績

令和元年度、第1回 Coca-Cola STAGE:0 eSPORTS High-School Championship2019 決勝大会が舞浜アンフィシアターで開催され全国の高校生の代表が集まり対戦した。

##### 4. 今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催が続いていることで、令和元年度より後援を行ってきた大会の主催者から、令和5年度以降の後援申請を見送る旨調整があった。しかし、市内老人クラブにおいて、eスポーツの需要が高まっていることを受け、老人クラブ連合会でeスポーツ大会を企画しており、実施となる際に後援申請を行いたいと調整があった。今後も引き続き浦安市教育委員会として支援を行っていく。



## (2) 浦安クリテリウムの開催

### 1. 評価

事業名	浦安クリテリウムの開催		
担当部署	市民スポーツ課		
成果指標	浦安の水際線やシンボルロード、アーバンリゾートゾーンなどの公共空間を活用して、自転車ロードレースの浦安クリテリウムの開催に向けて取り組む。		
令和4年度目標	浦安クリテリウムの開催に向け専門家や関係団体などで構成される実行委員会を設置し、会議においてイベント実施内容等検討する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	実行委員会設置 イベント実施内容等検討	イベント実施内容等検討	浦安クリテリウムの開催
令和4年度実績	浦安クリテリウムの開催に向けて、令和4年5月に実行委員会を設置した。また、令和5年3月に第1回実行委員会を開催し、専門家や関係団体から規模等についての意見及び情報収集を行い、実施内容について検討を行った。		
令和4年度評価	おおむね達成		

### 2. 分析

市内スポーツ関係団体2名・市内地域経済振興団体4名・自転車競技専門家4名・市内関係部長3名の計13名で実行委員会を設置した。

第1回実行委員会においては、レース種目の考え方や参加者資格などの開催要項、コースや周辺会場の設定について各委員より専門的な見地から以下のとおり様々な意見をいただいた。

- ・種目について、中学生、高校生、一般でクラス分けするべきであるし、一般の中でも実力差が大きい。実力差があると、落車につながるため、レース種目の項目を細かくするべき。(エリート・ミディアム・一般 など)
- ・参加資格について、市民に絞ると、競技者が十分に集まるか憂慮している。
- ・一本道というコースだと全体を見渡しやすいというメリットあり。また坂道があるコースは面白みがある。スピードレースなので、なにかポイントがあれば面白みのあるコースとなるが、どちらのコースもあり。

### 3. 参考実績

令和元年度に、浦安クリテリウム開催に向け、具体的な検証を行うため浦安市と都市形態が類似している海浜幕張で開催されるクリテリウムを視察した。実際の運営を視察することで、コースや集客等、具体的な企画まで情報収集、検討を行うことができた。

### 4. 今後の方向性

第1回実行委員会の意見を踏まえ、開催要項等の精度を高めていく。また、同様のレースを実施している近隣市町村に、実施や運営についての留意点や予算規模などのヒアリングを行う。



## 2 誰もがスポーツを楽しめる施設の充実

### (1) 浦安小学校屋内水泳プール一般開放事業

#### 1. 評価

事業名	浦安小学校屋内水泳プール一般開放事業		
担当部署	市民スポーツ課/教育施設課		
成果指標	浦安小学校屋内水泳プールの老朽化に対応するとともに、学校使用以外の未利用時間の一般開放を行う。		
令和4年度目標	浦安小学校屋内水泳プール未利用時間の一般開放に向けた準備を行う。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	対応未実施	対応未実施	対応検討
令和4年度実績	コロナ禍による影響を受け事業実施見送りとしている。		
令和4年度評価	未達成		

#### 2. 分析

平成30年度「浦安小学校屋内水泳プールの有効活用に向けた需要調査」を実施。市民開放について一定の需要が見込まれたことから改修に併せ一般開放を行う。改修工事の基本設計については令和元年度に行い、「A案：小学校・一般開放・身体障がい者が、使いやすい様考慮した案」「B案：A案を踏まえた上身体障がい者利用をもっとも考慮した案」「C案：小学校の使い勝手を優先し、現在の間仕切りをなるべく生かした案」の3案を提示した。

その後、令和2年度に整備を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施を見送りとしている。

#### 3. 参考実績

平成30年度 浦安市小学校屋内水泳プールの有効活用に向けた需要調査 実施

#### 4. 今後の方向性

令和6年度には再開予定であるが、事業の凍結継続か事業廃止も含めて、教育委員会の意思表示を改めて行う。

## (2) 市内スポーツ施設の再配置調査検討事業

### 1. 評価

事業名	市内スポーツ施設の再配置調査検討業務		
担当部署	市民スポーツ課		
成果指標	多様なスポーツニーズに対応した機会の充実を図るため、市内スポーツ施設の再配置の検討を行う。		
令和4年度目標	運動公園再整備計画を踏まえ、各スポーツ施設再配置調査委託の仕様の検討を行う。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	浦安市社会体育施設長 寿命化計画を策定	調査委託に関する 仕様の検討	調査委託の実施
令和4年度実績	再配置の検討を行う際に、現行の施設を補修や整備を行い、活用していく必要性が高まったことから、浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定した。		
令和4年度評価	未達成		

### 2. 分析

本市の主要施設である中央武道館は建設後 30 年以上経過しており、運動公園総合体育館と屋内水泳プールについても、今後の 10 年間で建設後 30 年を迎える。

このような中、本市のスポーツ施設について、より良いスポーツ環境の確保とともに、老朽化した施設の効率的、効果的な再生による中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を目指し、21 施設(29 棟)を対象に浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定した。長寿命化及び平準化を計画した場合、40 年後までの中長期的費用の見通しは、総額約 708 億円、1 年間あたりで約 17.7 億円という試算結果となった。

今後は運動公園再整備計画に加え、浦安市社会体育施設長寿命化計画を加味した検討が必要となる。

### 3. 参考実績

施設ごとの稼働率を把握している。検討にあたっては、需要予測に役立てていきたい。

令和4年度各スポーツ施設稼働率

施設名	稼働率
バルドラール浦安アリーナ(総合体育館)	61.3%
バルドラール浦安アリーナ(屋内水泳プール)	100.0%
バルドラール浦安アリーナ(キッズスポーツルーム)	47.5%
ブリオベッカ浦安競技場(運動公園陸上競技場)	28.7%

運動公園野球場	72.4%
運動公園軟式野球場	39.3%
運動公園テニスコート	60.5%
運動公園スポーツコート	30.7%
運動公園アーチェリー場	65.9%
運動公園スケートボード場	— (個人利用施設のため)
中央武道館	60.8%
東野プール	— (個人利用施設のため)
中央公園テニスコート	79.9%
KG軟式野球場(中央公園軟式野球場)	38.6%
高洲テニスコート	83.2%
高洲中央公園テニスコート	90.3%
J:COM浦安少年野球場(高洲中央公園少年野球場)	43.3%
ブリオベッカフィールド明海(明海球技場)	49.3%
総合公園球技場	81.1%
美浜テニスコート	84.1%
美浜運動公園テニスコート	88.7%
美浜運動公園少年野球場	37.1%
今川球技場	24.6%
高洲南テニスコート	87.0%
舞浜テニスコート	77.6%
大三角公園少年野球場	40.8%
高洲海浜公園パークゴルフ場	— (個人利用施設のため)

※稼働率とは利用コマ数を利用可能コマ数で除したもの。

(コマとは利用時間の単位で1コマは2時間)

#### 4. 今後の方向性

今後の年齢別人口構成の推移やスポーツ施設をはじめとした公民館の利用状況(競技種目別)の推移、浦安市学校体育施設開放事業の利用状況の推移など、総合計画をはじめ、運動公園の再整備事業など、各種計画との整合性を図り、将来必要とする施設を様々な角度から調査・検討を行う。

### (3) 運動公園の再整備

#### 1. 評価

事業名	運動公園の再整備		
担当部署	市民スポーツ課		
成果指標	市民が身近にスポーツを親しむことができ、トップレベルのスポーツに触れ合えるよう、運動公園におけるスポーツ施設のあり方について検討及び施設整備を行う。		
令和4年度目標	スポーツ施設の老朽化の対応や安全性と利便性の向上のため、総合体育館空調設備の設計及び改修工事を実施し、体育施設や屋内水泳プール等の改修工事を行う。 また、総合体育館及び屋内水泳プール施設の劣化診断を実施する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館空調設備(自動制御、エアハンドリング)修正設計</li> <li>・ 体育館、プール劣化診断</li> <li>・ 体育施設の改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館空調設備</li> <li>・ 体育施設の改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館空調設備</li> <li>・ 体育施設の改修工事</li> </ul>
令和4年度実績	総合体育館空調設備改修工事(自動制御設備及びエアハンドリング)の修正設計を行い、令和4年度から令和6年度の継続事業として工事発注を行った。 また、令和4年度に浦安市社会体育施設長寿命化計画の策定業務に併せて、体育館及びプール施設の劣化状況の調査を行った。加えて、運動公園内施設の野球場、弓道場、屋内水泳プール、テニスコートの改修及び設置工事については、3月末までで工事が完了した。		
令和4年度評価	達成		

#### 2. 分析

令和4年度は、総合体育館空調設備改修工事は令和元年度に設計が完了していたが、直近の不具合状況も考慮して発注ができるよう設計内容の修正を行い、令和4年12月に工事発注を行った。

体育館とプール(屋内水泳)施設は、令和4年11月に「屋根屋上」、「外壁」、「内部仕上げ(床、壁、天井、内部建具、照明器具、エアコン等)」、「電気設備」、「機械設備」の劣化状況調査を行った。

また、運動公園内施設では、「屋内水泳プールのろ過装置が故障」、「野球場通路天井が屋根からの浸水による被害」、「弓道場の庇が老朽化」、「テニスコート内に日除エリアが無いため、熱中症の危険」等の課題に対応するため、ろ過装置の補修、浸水被害と老朽化した天井と庇の改修、日除エリアの設置等、スポーツ施設の安全性と利便性の向上を主とした整備を行った。

#### 3. 参考実績

令和3年度：総合体育館卓球室外壁等補修工事・運動公園硬式野球場夜間照明不点是正工事

運動公園陸上競技場スコアボード設置工事・運動公園テニスコート照明設備改修工事

令和2年度：運動公園野球場スタンド通路及び伊南口設置工事・運動公園園路トイレ設置工事

運動公園駐車場整備工事

#### 4. 今後の方向性

令和元年度に策定した運動公園再整備計画及び令和4年度に策定した浦安市社会体育施設長寿命化計画に基づき、市民のニーズや人口構造の変化等を考慮し、スポーツ施設の整備を行う。

## (4) 総合体育館大規模修繕事業

### 1. 評価

事業名	総合体育館大規模修繕事業		
担当部署	市民スポーツ課/教育施設課		
成果指標	平成7年度に竣工した総合体育館において、安全な施設を持続的に提供し、市民が身近にスポーツを親しむことのできる環境を維持していくため、老朽化に対応した計画的な修繕に取り組み長寿命化を図る。		
令和4年度目標	浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定する。 総合体育館空調設備改修工事を発注する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	・長寿命化計画策定 ・空調設備改修工事発注	・空調設備改修工事	・空調設備改修工事 ・体育館補修工事設計 (外壁・屋上屋根、内部仕上げ)
令和4年度実績	重構造物の対象施設は、全て「新耐震基準」となっており長寿命化が可能であるため、社会体育施設長寿命化計画を策定した。 総合体育館空調設備改修工事の修正設計を行い、令和4年度から令和6年度の継続費にして工事発注を行った。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

令和4年度は、総合体育館空調設備改修工事について、令和元年度に設計が完了していたが、直近の不具合状況も考慮して発注ができるよう設計内容の修正を行い、令和4年12月に工事発注を行った。

重構造物の対象施設である総合体育館は、「新耐震基準」となっており、改修工事を行うことで、耐用年数の目安を60年から80年に長寿命化することが可能であるため、社会体育施設長寿命化計画を策定した。

### 3. 参考実績

<総合体育館 過去の主な工事实績>

勾配屋根補修、排煙窓改修、外壁改修、内部仕上げ改修

### 4. 今後の方向性

策定した長寿命化計画に基づき、建築物の基本的な耐用年数60年を超えて、さらに長寿命化を図るべく建設後60年目に再度改修を行い、80年の利用を目指す。また、長寿命化計画策定時に調査した施設の劣化状況に応じて改修工事を実施する。

<今後の改修案>

屋根・屋上改修：雨漏り対策、ボルトの錆、屋根の劣化、軒裏と軒樋の汚れ

外壁改修：コンクリート爆裂、鉄板の錆、外壁仕上げ材ひび割れ

内部仕上げ改修：防音材の劣化、床・壁・手摺等のひび割れ(剥がれ)、カーテン・ブラインド劣化

## (5) 屋内水泳プール大規模修繕事業

### 1. 評価

事業名	屋内水泳プール大規模修繕事業		
担当部署	市民スポーツ課/教育施設課		
成果指標	平成 11 年度に竣工した屋内水泳プールにおいて、安全な施設を持続的に提供し、市民が身近にスポーツを親しむことのできる環境を維持していくため、老朽化に対応した計画的な修繕に取り組み長寿命化を図る。		
令和 4 年度目標	浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定する。 プールろ過装置の補修工事を実施する。		
実績値・目標 (3 か年)	令和 4 年度 (実績)	令和 5 年度 (目標)	令和 6 年度 (目標)
	・長寿命化計画策定 ・ろ過装置補修工事	・プール設備補修設計 (外壁、屋根、内仕上げ)	・プール設備補修設計 (外壁、屋根、内仕上げ)
令和 4 年度実績	重構造物の対象施設は、全て「新耐震基準」となっており長寿命化が可能であるため、社会体育施設長寿命化計画を策定した。 屋内水泳プールろ過装置が故障したため、補修工事を実施した。		
令和 4 年度評価	達成		

### 2. 分析

令和 4 年度は、屋内水泳プールのろ過装置の老朽化による故障に対応するため、改修工事を実施し、機能回復と安全性の向上を図った。

重構造物の対象施設である屋内水泳プールは、「新耐震基準」となっており、改修工事を行うことで、耐用年数の目安を 60 年から 80 年に長寿命化することが可能であるため、社会体育施設長寿命化計画を策定した。

### 3. 参考実績

<屋内水泳プール 過去の主な工事実績>

照明器具改修、空調設備改修、天井改修、更衣室床改修、内部塗装改修

### 4. 今後の方向性

策定した長寿命化計画に基づき、建築物の基本的な耐用年数 60 年を超えて、さらに長寿命化を図るべく建設後 60 年目に再度改修を行い、80 年の利用を目指す。また、長寿命化計画策定時に調査した施設の劣化状況に応じて改修工事を行う。

<今後の改修案>

屋根・屋上改修：屋根・軒裏の汚れと劣化、排水溝の詰まり

外壁改修：鉄骨・スチールドアの錆、外壁・外扉の汚れと劣化、

内部仕上げ改修：床・壁の汚れと塗膜剥がれ、エキスパンションジョイント変形、換気窓の開閉不良

## (6) 中央武道館大規模修繕事業

### 1. 評価

事業名	中央武道館大規模修繕事業		
担当部署	市民スポーツ課/教育施設課		
成果指標	平成2年度に竣工した中央武道館において、安全な施設を持続的に提供し、市民が身近にスポーツを親しむことのできる環境を維持していくため、老朽化に対応した計画的な修繕に取り組み長寿命化を図る。		
令和4年度目標	浦安市社会体育施設長寿命化計画を策定する。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	長寿命化計画策定	令和6年度の工事又は設計に係る予算の検討及び決定	長寿命化計画に基づく、工事又は設計の実施
令和4年度実績	重構造物の対象施設は、全て「新耐震基準」となっており長寿命化が可能であるため、社会体育施設長寿命化計画を策定した。		
令和4年度評価	達成		

### 2. 分析

重構造物の対象施設である中央武道館は、「新耐震基準」となっており、改修工事を行うことで、耐用年数の目安を60年から80年に長寿命化がすることが可能であるため、社会体育施設長寿命化計画を策定した。

### 3. 参考実績

<中央武道館 過去の主な工事実績>

屋根改修、排煙窓改修、床改修、照明設備改修、空調設備改修、多目的トイレ改修

### 4. 今後の方向性

策定した長寿命化計画に基づき、建築物の基本的な耐用年数60年を超えて、さらに長寿命化を図るべく建設後60年目に再度改修を行い、80年の利用を目指す。また、長寿命化計画策定時に調査した施設の劣化状況に応じて改修工事を実施する。

<今後の改修案>

屋根・屋上改修：配管・煙突の錆、トップライトの劣化、瓦の汚れ

外壁改修：タイル・窓枠シールの剥がれ、塗膜剥離、地面の隆起、配管・縦樋の破損

内部仕上げ改修：防音材・シーートの汚れと破損、壁クラック、天井雨漏り、内装仕上げ材剥がれ

### 3 スポーツへの関心を喚起する取り組みの推進

#### (1) 総合型地域スポーツクラブの充実

##### 1. 評価

事業名	総合型地域スポーツクラブの充実		
担当部署	市民スポーツ課		
成果指標	身近な地域でスポーツに親しめるよう、学校やスポーツ関係団体と連携を図りながら、地域に密着している総合型地域スポーツクラブの充実に取り組む。		
令和4年度目標	各地域スポーツクラブに対し、活動に必要な備品について支援することにより、地域のスポーツをする機会が図れるため引き続き支援を行う。		
実績値・目標 (3か年)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
	備品の支援	備品の支援	備品の購入
令和4年度実績	総合型地域スポーツクラブの活動用の備品として、キックターゲットとストラックアウトを購入し、より充実した活動ができるよう支援を行った。		
令和4年度評価	達成		

##### 2. 分析

総合型地域スポーツクラブは、地域の様々な年齢・競技レベルの方が集い、誰もがそれぞれのスタンスでスポーツを楽しめる場を作り出している。さらに活動を充実させるため、備品等の購入の支援を行い、スポーツに対する様々な需要に応える必要がある。また、現在ある6つの総合型地域スポーツクラブは中町・新町地域にあるため、元町地域にも総合型地域スポーツクラブの設立を検討する必要がある。

令和4年度は、各地域で活動している総合型地域スポーツクラブで組織されたウラスポユナイテッドに対し、キックターゲットとストラックアウトを購入し、支援を行った。

##### 3. 参考実績

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で施設が利用不可の期間が長くあり、活動自体の機会が減少したものの、コロナ禍において市民の方々が安全に活動できるよう、アルコール消毒液の購入を行った。また、令和2年度も同様に、マイクアンプの購入を通じ活動環境の整備を行った。

##### 4. 今後の方向性

今後も引き続き、ウラスポユナイテッドが、活動に必要な備品等の購入を通じて、各クラブの活性化を図り、多くの市民への貢献ができるよう、引き続き支援を行う。



## 令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書

高橋 光法

## 1. 全体の講評

『令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書』における点検・評価の対象は、「『浦安市第1次実施計画』に記載のある施策を中心に振り返る」こととなっています。第1次実施計画の計画期間は、当初は令和2年度（2020年度）～令和4年度（2022年度）でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大による影響から、その後修正され令和6年度（2024年度）までとなっています。その理由については、『浦安市第1次実施計画（修正版）』につきのように述べられています。「第1次実施計画（令和2～4年度）について、新型コロナウイルスの感染拡大による影響（財政・事業実施の面）から、一部事業の先送りや執行停止を行い、こうした事業は状況を勘案しながら再開することとします。このため、計画の連続性を重視し、（中略）第1次実施計画を延長する『修正版』として策定することとしています。また、修正にあたっては、先送りや執行停止した事業を含め、第1次実施計画に掲げた事業のほか、新たな事業も位置づけます」と。

さて、令和3年度の評価対象は29事業でしたが、令和4年度では36事業となっています。令和3年度と4年度とを見ると、多くの事業は引き続きの対象となっています。対象から外れた事業は、「読書通帳運用事業」（経常事業に移行）「電子資料提供サービス事業」の2事業です。新たな対象として、「幼児期体力向上支援事業」「認定こども園・幼稚園改修事業」「小・中学校エアコン更新事業」「千鳥学校給食センター次期事業検討事業」「舞浜地区公民館整備事業」「ものづくり環境整備事業」「総合体育館大規模修繕事業」「屋内プール大規模修繕事業」「中央武道館大規模修繕事業」の9事業が取り上げられています。

計画の連続性を重視して令和6年度（2024年度）までを計画期間とする

『浦安市第1次実施計画（修正版）』の策定は大変に意義あるものであり、おおいに評価できます。各事業の着実な推進を期待します。

令和4年度の「点検・評価（票）」の体裁が大変に見やすくなっています。また、評価方法が、これまでの「達成」と「未達成」の2段階から、「達成」「おおむね達成」「未達成」の3段階に変更となっています。これらの取り組みもあり、より実態に即した点検・評価活動が実施されていて、大いに評価します。不断の改善の上で行われる点検・評価活動は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への責任説明を果たすことになり、結果、より一層信頼される教育行政の推進にもつながるものと考えます。

令和4年度の点検・評価にあたり、『令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書』（案）・『浦安市総合計画』・『浦安市第1次実施計画（修正版）』を中心に、各事業の「1. 評価」、「2. 分析」、「3. 参考実績」、「4. 今後の方向性」を関連づけてみていき、教育

委員会の点検・評価活動を確認しました。また、『浦安市教育振興基本計画（修正版）』・『浦安市学校教育推進計画』・『第2次浦安市生涯学習推進計画 浦安市生涯スポーツ推進計画』などの資料も、必要に応じて参照しました。

令和4年度、点検・評価の対象となった36事業のうち、22事業が「達成」（約61%）、11事業が「おおむね達成」（約31%）、3事業が「未達成」（約8%）でした。「未達成」の事業は、「体力向上推進事業」「浦安小学校屋内水泳プール一般開放事業」「市内スポーツ施設の再配置調査検討業務」でした。「達成」と「おおむね達成」を合わせると33事業となり、達成率は約92%にもなっています。各所管課の取り組みについて高く評価します。

以上のことから、令和4年度の浦安市教育委員会の権限に属する事務が適正に管理・執行されていると認めることができます。また、その状況についての教育委員会の点検・評価が公正・適正に行われ、その結果内容が「令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書」としてまとめられていることを確認しました。

## 2. 施策・事業ごとの講評

### 第1節 健全育成

#### 1 子どもの健やかな成長と豊かな心を育む環境づくり

##### (1) 青少年補導員による街頭補導活動等の推進

本事業の目標は、令和3年度では「パトロール回数」、「補導人数」、「ネットパトロール検知件数」、「関係団体会議への参加回数」の4項目で設定されていましたが、令和4年度では「パトロール回数」、「ネットパトロール実施日数」の2項目となっています。

あらためて考えると、「補導人数」や「ネットパトロール検知件数」を目標に設定し、その人数や件数の多さで評価することのおかしさに気づきます。これらの数字は、あくまでも事業実施の結果として積み上げられた結果（データ）であり、事業目標の達成度を表わす数値にはなりません。担当部署が目標を「パトロール回数」、「ネットパトロール実施日数」の2項目に設定したことはおおいに評価できます。

また、「分析」欄に、「街頭補導活動は『愛のひと声活動』『みまもり活動』を行っており、子どもたちに寄り添う立場でありたいという思いから青少年補導員では『みまもり隊』という別称を設けた。また、一般的に『補導』というと『警察』『捕まえる』『危険』といったイメージがあることから、そのイメージを払拭し、実際の補導員の活動内容を市民の皆様知ってもらうため、キャラクターの『ケロヤス』を作成した。ケロヤスの付いた緑のビブスやバッチを身に着けてパトロールを行ってきた」とあります。名は体を表すといえます。「子どもの健やかな成長と豊かな心を育む環境づくり」の施策としては、別称である「みまもり隊」の方が「補導員」よりも本事業の目的を端的に表していると思われれます。みまもり隊やキャラクターのケロヤスの取り組みを高く評価します。

さて、令和4年度の点検・評価では、「パトロール回数」は目標350回のところ294回の実績、「ネットパトロール実施日数」は365日のところ毎日実施となっています。「パトロール回数」は目標をわずかに下回っていますが、「おおむね達成」との評価は妥当であると考えます。

## 第2節 学校教育

### 1 特色ある教育の推進

#### (1) 情報教育推進事業

令和3年度と4年度の目標値及び実績値をみると、3年度目標値は「児童生徒情報教育実態調査」4項目の肯定的回答の平均85%、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」4項目の肯定的回答の平均75%で、実績値はそれぞれ81%、80%となっています。この結果を受けた令和4年度の目標値は90%、85%で、実績値は80.3%、80.7%となっています。以上の実績から、「おおむね達成」との評価は妥当であると考えます。

一方、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」4項目の肯定的回答の割合が上がっているのに対して、「児童生徒情報教育実態調査」4項目の肯定的回答の割合は、令和4年度90%と高い目標値を掲げていながら、実績値は令和3年度よりも落ちています。目標値が達成できない原因は何か、具体的にはどのような取り組みが必要か等について、一層の検討・協議が求められます。

その際、「学校教育において一人一台端末の活用を推進していくことで、個に応じた資質能力の育成を図る」との成果指標に立ち返ることが求められます。ICT機器の活用はあくまでも手段であり、ねらいは“まなび”の質的転換にあります。一層の施策の推進を期待します。

#### (2) 園・小・中連携教育の推進

浦安市では「浦安市園・小連携5歳時の学びのカリキュラム・スタートカリキュラム」や「小・中連携一貫教育カリキュラムの指針」などが策定されており、その活用について園・学校訪問等を通して周知及び指導を行っています。実績欄には「教員の連携に対する意識は少しずつ高くなっている」とあり、担当課の着実な推進の成果であると考えます。「おおむね達成」との評価は適切であると考えます。

就学前から義務教育9年間を見通した学習指導が着実に進められています。また、園・小・中連携教育が中学校区の特色を活かしながらか進められていることも評価できます。

#### (3) 人権啓発推進事業

目標達成に向けて、浦安市人権標語コンテスト・人権作文の実施、人権教室、人権講演会の開催、若年層教員研修などが着実に実施されています。「おおむね達成」との評価は妥当であると考えます。

また、目標には「自尊感情や自己有用感が高まった」、「他者への配慮・思いやりが深まった」が位置づけられています。人権教育では欠くことのできない視点です。一層の推進に期待します。

#### (4) 体力向上推進事業

担当課の評価は「未達成」となっています。「体力・運動能力調査における、各種目の全国平均を上回る割合を令和6年度までに、小・中学校ともに60%にする」との成果指標が

ら見て、令和4年度が20.1%と大幅に下回ったのが主な理由となっています。20.1%との実績値を考慮すると、「未達成」との評価は納得できます。一方、60%との「成果指標」「目標値」の設定には無理があると考えます。

分析欄に「積極的に行う子とそうでない子の二極化が進み、子どもたちの外遊びや運動時間が減少している。特に、中学校における運動時間は、部活動加入率の低下などもあり減少した。体力・運動能力調査の結果も小中学校ともに、全国平均値を上回る種目は少ない。この原因としては、児童生徒が学校の体育以外で体を動かす機会が減っていることが考えられる」とあります。

この指摘からも明らかなように、体力向上施策は学校体育や体育以外での体を動かす機会（学校内外を問わない）をいかに質・量ともに増やすかにあると考えられます。したがって、60%にするとの成果指標や目標は分かりやすい数値ではありますが、「体力向上推進事業」の目標として無理があるのではと考えます。更なる検討をお願いします。

#### （5）幼児期体力向上支援事業

「幼児期における体力向上と生涯にわたり健康を維持する運動習慣の基盤をつくる」ことは極めて重要です。本事業の利用率は65.3%であり、「達成」との評価は妥当であると考えます。

今後の方向性に「年間を通じて継続的に実施し、登録園を増やして利用率の向上に努めていく」とあります。さらなる事業の推進に期待します。

## 2 一人ひとりの個に応じた指導の充実

### （1）奨学支援金事業

本事業の令和4年度成果指標・目標と実績から、担当課の「達成」との評価は適切であると考えます。引き続きの取り組みに期待します。

分析欄に「学業成績が優秀で学習意欲のある者に対する支援という、本来の趣旨に即した制度への移行」とありますが、確かに、奨学金制度などの創設・導入期は「学業成績が優秀で学習意欲のある者に対する支援」が主な趣旨であったことは間違いありません。しかし、子どもたちを取り巻く時代・社会の状況は刻々と変わっています。したがって、奨学支援金事業の趣旨は従前のままでよいかについても、検討・協議が必要と考えます。支援の間口を広げる取り組みに期待します。

### （2）県立特別支援学校の誘致

実績欄には「誘致案を基に県と協議を進め、明海南小学校校舎を活用し令和9年度に小中学部を開設することを決定した」とあります。県立特別支援学校の誘致は、平成20年度の県等への要望書提出に始まります。約15年間、この間の教育委員会をはじめ市をあげての取り組みに敬意を表します。

評価は「おおむね達成」となっています。適切な評価と考えます。

### (3) 学校教育臨時教員等経費

学校現場での教員不足が大きな社会問題となっています。ベテラン層の大量退職、長時間労働、学校（教員）を取り巻く保護者・地域の変化、教師の志望者の減少等で、県費負担教職員が不足している状況下です。それにもかかわらず、135名という多くの市費会計年度任用職員の配置がなされていて、高く評価できます。「おおむね達成」との評価は適切と考えます。

### (4) 特別支援学級等の整備

本市は特別支援学級を全校に設置するとの方針を掲げています。令和4年度は計画通り1校開設されています。さらに、通級指導教室の教室数を増やしています。確実に事業推進がなされており高く評価します。「達成」との評価は適切であると考えます。

### (5) いじめ問題等の対策の充実

令和4年度実績では、「全国学力・学習状況調査」の意識調査における質問項目「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する児童生徒の回答で、「とてもそう思う、そう思う」の回答合計が小学校で95.4%、中学校で95.4%と、大変に高い数値となっています。

「命の安全教育推進事業」、教員研修、「いじめ教えてメール相談」などの施策が計画的に実施されています。「おおむね達成」との評価は妥当であると考えます。

一方、いじめはより陰湿で見えにくくもなっています。「いじめはいけないことだ」「いじめをなくそう」といくら呼びかけても、子どもの心に届かずに、上辺だけのスローガンで終わってしまうことも考えられます。関係部署による不断の取り組みをお願いします。

### (6) 日本語指導員の派遣

日本語指導員の充足率が100%でした。「達成」との評価は適切です。

今後は、量（派遣人数）とともに、質（派遣時間などのソフト面）の面でのより一層の充実を期待します。

### (7) いちよう学級における教育機能の充実

令和4年度の利用状況では、教育相談が240人、学習支援が89人、訪問支援が23人となっており、事業推進がきめ細かく、丁寧に進められていることがわかります。「達成」との評価は適切であると考えます。いちよう学級における教育機能のさらなる充実に期待します。

### (8) 学校給食費の無償化

目標は「市が設置する小学校6年生と中学校3年生の児童生徒に係る学校給食費の無償化により、保護者の教育費の負担軽減を図る」です。令和4年4月より、すでに実施している第3子（平成28年度より）も加えて学校給食費の免除が始まりました。「達成」との

評価は妥当と考えます。

なお、本事業では対象の拡大を計画していることから、さらなる取り組みに期待します。

### 3 教育環境の向上

#### (1) 学校規模適正化事業

学校施設の整備については、昨年度も記載しましたが、「高齢化の進展に伴う人口構造の変化」や「昭和 50 年代を中心に集中的に整備された公共施設の老朽化」への対応などで待ったなしの課題となっています。同時に、「児童生徒のより良い教育環境の整備」や「教育の質の充実」にも併せて取り組まなければならない事業です。非常に困難な課題ではありますが、事務局をはじめ設置した委員会での検討・協議をお願いします。

「おおむね達成」との評価は妥当と考えます。

#### (2) 認定こども園・幼稚園改修事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

#### (3) 小・中学校改修事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

#### (4) 防災教育の推進

成果指標や目標、実績とから、「達成」との評価は妥当であると考えます。大きな被害をもたらした東日本大震災から 12 年が経過しています。「災害は忘れた頃にやってくる」といいます。今後の訓練をはじめとする防災教育の着実な推進を期待します。

#### (5) 小・中学校エアコン更新事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

#### (6) 千鳥学校給食センター次期事業検討事業

目標には「施設の現状把握及び調査」とあります。実績では「施設、設備、調理機器等の現状調査を行い、給食関係者からの意向調査や設備等の劣化調査を実施」とあります。丁寧に事業が進められていることがわかります。「達成」との評価は適切であると考えます。

### 4 地域とともに子どもを育む体制の推進

#### (1) コミュニティ・スクールのあり方検討

検証校（小学校 1 校、中学校 1 校）において合同会議が 4 回にわたって開催されたこと、1 回 1 回の会議の場においてコミュニティ・スクールの在り方や設置の方向性などについて極めて有意義な協議が行われたことが確認できました。「達成」との評価は適切であると考えます。

### 第3節 生涯学習

#### 1 市民一人ひとりが学ぶ機会の充実

##### (1) (仮称) 子どもの図書館等整備事業

小学校では全17校5～6年生全クラス2,496人、中学校では全9校1～3年生全クラス3,111人への調査を実施しています。子どもたちの声を踏まえながら必要な施設機能の検討が行われたことと思います。「おおむね達成」との評価は適切であると考えます。

#### 2 市民がつながり交流する機会の充実

##### (1) 舞浜地区公民館整備事業

市内各地区には7つの公民館があり、それぞれが地域住民に親しまれ、生涯学習の拠点として有効に機能しています。しかし、舞浜地区から各公民館を利用するには距離があり、地域住民から公民館整備を望む声が寄せられていたとあります。本事業は、その舞浜地区に公民館を整備するもので、住民の喜びもひとしおのことと思われれます。地域住民等のニーズなどを踏まえて、基本計画を策定したとあります。「達成」との評価は適切であると考えます。

##### (2) ものづくり環境整備事業

「デジタルファブリケーション機器を中心とした工房機能を備えたファブスペースを整備し、子どもから高齢者まで幅広い市民がものづくりを通じて個性や能力を発揮できる環境を提供する」と成果指標に記載されています。

読んだだけで胸がわくわくする事業です。令和4年度は計画通りにファブスペースの整備方針が決定されています。「達成」との評価は適切であると考えます。

### 第4節 文化

#### 1 歴史・伝統文化の保存・継承

##### (1) 郷土博物館展示リニューアル事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

#### 2 市民が文化芸術に触れる機会の充実

##### (1) 街頭パフォーマンスライセンス事業

令和4年度は、街頭パフォーマー認定者が目標50団体のところ、実績は47団体、ステージ利用件数が目標60件のところ、実績は46件となっています。新型コロナウイルス感染症拡大対策のためステージ利用0件であった昨年度と比べると大きな伸びを示しています。「おおむね達成」との評価は妥当であると考えます。

##### (2) 浦安アートプロジェクト事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

## 第5節 スポーツ

### 1 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実

#### (1) eスポーツの推進

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

#### (2) 浦安クリテリウムの開催

クリテリウムとはサイクルロードレースの一つで、舗装された道路などを周回する自転車競技と解説されています。浦安市では水際線やシンボルロード、アーバンリゾートゾーンの公共空間の活用が考えられ、スポーツ振興の一つとして非常に有効であると考えます。

「浦安市第1次実施計画（修正版）」では、「浦安の魅力を高めるための施策」の一つとして位置づけられ、まちへの愛着や誇りを持てるような環境づくりに寄与することが求められています。令和6年度の開催に向け一層の取り組みを期待します。

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は妥当であると考えられます。

### 2 誰もがスポーツを楽しめる施設の充実

#### (1) 浦安小学校屋内水泳プール一般開放事業

開放に向けた対応が未実施のことから、評価は「未達成」となっています。妥当な評価です。今後の方向性には「令和6年度には再開予定であるが、事業の凍結継続か事業廃止も含めて、教育委員会の意思表示を改めて行う」とあります。十分な協議を尽くして、なるべく早く事業の方向性について示す必要があると考えます。

#### (2) 市内スポーツ施設の再配備調査検討業務

各スポーツ施設再配置調査委託仕様の検討が未実施であったことから、評価は「未達成」となっています。妥当な評価と考えます。一方で、「浦安市社会体育施設長寿命化計画」を策定したとあり、評価できます。

#### (3) 運動公園の再配備

令和4年度、運動公園の再整備が計画通りに完了しています。「達成」との評価は適切です。

#### (4) 総合体育館大規模修繕事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は適切であると考えます。

#### (5) 屋内水泳プール大規模修繕事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は適切であると考えます。

#### (6) 中央武道館大規模修繕事業

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は適切であると考えます。



### 3 スポーツへの関心を喚起する取り組みの推進

#### (1) 統合型地域スポーツクラブの充実

目標通りの事業の実施であり、「達成」との評価は適切であると考えます。

令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書

須田 哲史

1. 全体の講評

意見書は、「浦安市第1次実施計画（修正版）」に位置付けられた施策を中心にまとめられた「令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書（案）」及び、過去の同報告書、文部科学省、千葉県、浦安市、報道機関の発表の関係資料、関係者のヒアリング等を参考にして、各事業を精査しました。浦安市教育委員会各部署と関係機関、関係者が、適時適切に、検討・運営・実施しており、同報告書で評価されていることを確認いたしました。

- ・具体的には、令和4年度、36の事業の内、22事業が「達成」、11事業が「おおむね達成」、3事業が「未達成」となりました。昨年対比では、「おおむね達成」の評価を加えているので、一概に比較することはできませんが、未達成が、大幅に減少して、達成度の高い運営ができていると確認しました。
- ・多くの事業は、新型コロナウイルス感染拡大の第6波～第8波が襲う中、市民の声をきちんと拾い、適切に実施有無を判断、実施の際には、万全の感染症対策と体制で進められておりました。事業推進関係者の皆様の日々の努力に敬意を表します。
- ・社会の課題の喫緊のテーマ（アフター・コロナ、情報教育推進、生成AI、働き方改革、地球温暖化、子どもの犯罪被害・人権等）の解決の早期実現のため、中長期計画の中で事業の目標や成果指標の微調整を要するものも出てきており、今後とも、PDCAサイクルを回す中で、しっかりとこれらのテーマを取り込みながら、事業推進頂くことを期待します。

（付記）コロナの蔓延やロシアのウクライナ侵攻による影響で、経済活動の悪化による経済格差の2極化が進み、貧困家庭も増加。家庭内では、近親者間暴力、虐待、ネグレクト、家族の精神的疾患や依存症などが潜在化。ネットを使った性犯罪や闇バイトの矛先が、さらに青少年に向かっています。浦安市教育委員会としても、これらの課題に、しっかりと立ち向かっておりますが、子どもたちを取り巻く環境が、日に日に悪化している現状を強く認識することが重要です。

国連の「子どもの権利条約4原則」である、子どもの意見の尊重（体罰や暴言、禁止だらけの公園、ブラック校則、制服等）、生命や発達に対する権利（虐待、いじめ、自殺等）、差別の禁止（障がいのある子ども、外国籍の子ども、貧困状態にある子ども等）、子どもの最善の利益（親の離婚、教育格差、無国籍児童等）を基本に、真剣に向き合うとともに、「ACE（エース）」（Adverse Childhood Experiences）研究にあるような「子ども期の逆境体験がもたらす悪影響さ」を深く理解し、行政の総力を挙げて、現代病に苦しむACEサバイバーを含めたすべての子どもたちに「生きる力」を身に着けられるよう、学びの場を充実し続けていかれることを願います。

## 2. 施策・事業ごとの講評

### 第1節 健全育成

#### 青少年補導員による街頭補導活動等の推進（評価：おおむね達成）

多くの青少年補導員ボランティアが、青少年センターと共に、コロナ禍にあっても、登下校時や、市内巡回車によるパトロールを推進し、子どもたちの健全育成の環境は、しっかり維持されました。同時に、ネットパトロールで、主要SNS・動画サイト等で、不適切投稿や問題行動を日々検知、先手を打った対応を実施されたことを確認しました。

今後の方向性に書かれているように、自転車ルールやマナー指導を進めるとの事。この4月から推奨されている、自転車ヘルメットの着用指導も、推進して下さい。

また、児童生徒のインターネットの被害状況が、年々増加するとともに、被害者の低年齢化が進み、最悪の状況にあることを念頭に、どんなアプリでどのような犯罪が行われているか、学校や家庭、警察機関と情報共有し、小中学生を中心に啓蒙教育を行い、児童生徒向けの研修実施の際には、保護者への来席を促し、フィルターをかけさせる等、犯罪に巻き込まれない環境作りをお願いします。

### 第2節 学校教育

#### 情報教育推進事業（評価：おおむね達成）

分析にあるように、児童生徒にとっては、タブレットやデジタルコンテンツ、スクリーン等を活用するのが当たり前で、学習活動に欠かせない時代に移っていること。と同時に、こうした機器を使用しているからといって、面白くて優れた教材、アプリが提供される授業方法の開発ができていないと、評価が低くなってしまう傾向にあることがうかがえます。

社会全体では、ホワイトカラーの生産性向上が叫ばれ、ワード、Excel、PowerPointのような基本のアプリだけでなく、それぞれの仕事や業務の内容を大きくサポートするアプリ（動画・音声作成、翻訳、思考整理等々）が、使いやすく提供されて使用されています。そして、これらのアプリは、SNSで、あっという間に厳選、拡散、利用されていきます。教育現場で、キャッチアップし続けることは容易ではありませんが、普及期に入ったチャットGPTのような生成AIは、ビジネスや教育環境を一気に飛躍させることは間違いありません。

（例：文部科学省が、中学高校の英語教育で対話型人工知能（AI）を導入検討のため、千葉県立成田国際高校で実証事業）変化が激しく、対応が難しい情報教育推進事業ですが、引き続き注力願います。

#### 園・小・中連携教育の推進（評価：おおむね達成）

令和4年度から、目標の基準が、これまでのものと変更しましたので、園・小・中連携教育の実態の活動がどのように推移しているのか、確認いたしました。各中学校区9学区の交流実績の内容が、毎年報告されており、各中学校区の各活動内容は、「学びの連続性の重視」「園小中の連携の推進」を基本の考えとして、年々工夫されて、磨きがかかっていること（当初は、学びのスタンダードの共有、合同研修、相互授業参観等だけでしたが、現在は、交流活動や学校イベントに絡ませた出前授業、合同鑑賞会、合同引き渡し訓練等に

進化)を確認いたしました。さらなる推進を期待します。

#### 人権啓発推進事業（評価：おおむね達成）

多様性社会推進課と連携した「人権教室」「人権講演会」を推進し、教員の研修では、人権チェックリストやヤングケアラー理解を題材に、基本的な人権の考え方や取り組みを行なわれていること、児童生徒向けには、定期的な人権学習の機会を継続、「人権公民ノート」や学校人権教育指導資料集を活用して、啓蒙活動を推進していることを確認しました。

#### 体力向上推進事業（評価：未達成）

体力向上推進事業については、体力・運動能力調査の各種目の全国平均を上回る割合60%の目標に対して20.1%で、「未達成」は当然と考えます。

この3年間の達成度ですが、令和2年度は、60%に対して45.8%、令和3年度は、60%に対して21.5%と低下しています。かつ、これまでの3年間の今後の方向性を読むと、体力向上推進校の指定と学校間の情報共有を密にして体力向上を図るようにしていましたが、加えて保護者への周知、地域や家庭と連携した運動機会の向上、これらの目標設定が、各小中学校の体力向上策と結びついて、変えていくことも重要と考えます。

この3年間の種目別学年別男女別資料を読み込んでいくと、浦安市の児童生徒は50m走に強みがあり、次に、上体起こし、握力などが続きます。ところが、20mシャトルラン、反復横跳びなどは、全国平均に比較して、元々、全学年で、その差に開きがある弱みになっており、継続的な取り組みが必要です。昨年は、プロ野球選手の指導の下、ソフトボール投げの指導もあり、これまで弱点だった、この種目が確実に、平均値をあげている様子が確認できます。こうした実績からも、各校の実態に合った種目別学年別男女別目標の設定を加える事が必要かと考えます。

#### 幼児期体力向上支援事業（評価：達成）

運動公園施設の設備・機材と指定管理者の持つ運動指導のノウハウを、幼児期の体力向上プログラムに活用できることは、園庭が狭い認可保育園・こども園・幼稚園にとっては、とてもありがたいプログラムです。加えて、市が所有するマイクロバスを、園児の送迎で利用可能となればなおさらです。年間通して、施設を活用されている点でも、事業性が高いプログラムです。利用率65%に対して、65.3%で「達成」は妥当で、着眼点の良い事業と評価します。

#### 奨学支援金支給制度（評価：達成）

令和4年度から、これまでの運用実績や本制度の主旨を鑑みて制定した「浦安市奨学支援金支給条例解釈運用基準」に基づき、学業優秀で、学習意欲のある方々に支援できた点で、「達成」は適切な評価と考えます。

一方で格差社会は、さらに広がっており、経済格差が学力格差となっている現状の中で、今後の方向性にあるように、相対的な成績の順位だけでなく、学習への取組姿勢や熱意等

を相対的なばらつきの中で拾い上げる等、より本市の実情に即した支援もお願いします。

#### 県立特別支援学校の誘致（評価：おおむね達成）

平成20年度から毎年、県への要望を重ね、誘致活動も、具体的に着手できる環境づくりのために「特別支援教育のあり方検討会」「県立特別支援学校誘致推進委員会」等、下地案を固め、推進してきたことで、開校までの道筋をつけることができました。関係者の努力に敬意を表します。今後は、市民や地元民、県、保護者、明海南小、明海中学校が一体となって、最高水準の特別支援授業が行える学校として、開校スタートできるよう、引き続き、協議・調整をお願いします。

#### 学校教育臨時教員等経費（評価：おおむね達成）

学校教育臨時教員（市費会計年度職員）の配置目標85%に対して、83.6%配置となりました。教職員の採用そのものが、かなり厳しい中であって、ベストを尽くしており、「おおむね達成」の評価は、妥当と考えます。

（付記）今年度の方向性に、「安心して働ける職場環境の整備、改善を含めた教職の魅力向上」を掲げていますが、教員の採用及び、出産・育児後の職場復帰、子育て環境の整備は、特に、日本の少子化対策につながる重要なポイントです。職業別でも、働く女性の教員の多さは、群を抜いており、女性の働き方のサポートは、そのまま、他分野の職業の今後の働き方改革の大事な事例となり、次代を担う子どもたちへの大事なメッセージとなりますので、具体策の実行をお願いします。

#### 特別支援学級等の整備（評価：達成）

令和4年度は、目標通り、富岡小学校に、特別支援学級が開設され、通級指導教室も、浦安小学校（「ことばときこえの教室」）、東小学校（「LD・ADHD等の通級指導教室」）を増やすことができ、「達成」は妥当と考えます。

学びの上で、特別支援を必要とする児童生徒にとって、特別支援を受けやすい環境が整ってきており、就学前も含めて、保護者や担任等との相談・連携もしっかりと行われてきており、さらなる個に応じた学びの重要性を、広めていただくことを願います。

#### いじめ問題等の対策の充実（評価：おおむね達成）

今まで、隔年の調査で把握していた「いじめ問題の指標」を毎年行う調査に変更したこと、「いじめはどんな理由があってもいけないこと」「組織的、計画的に自他を尊重する心の育成を図っていく」姿勢が明確に伝わる体制作りができていることを確認しました。学校、親、地域、いじめ解決関係団体など、相談報告の受けやすい環境、場所づくりや、問題の早期発見ができる体制づくりを引き続きお願いします。

#### 日本語指導員の派遣（評価：達成）

日本語指導員は、年度初めは36名の派遣申請。年度末には43名と充足率100%を達成して

おり、評価は妥当と考えます。

アフター・コロナで、観光目的で来日、ビジネス目的で定住される外国人が右肩上がり  
で増加している現状や、観光都市浦安という点を考えると、日本語指導員の必要性・重要  
性は、更に高まることが推測されます。加えて総務省が発表した 住民基本台帳人口による  
と 令和5年1月1日現在、日本の総人口は1億2541万6877人で、調査の対象に外国人の住  
民を含めるようになった2013年から10年連続で減少しています。このうち日本人は1億  
2242万3038人で、2009年から14年連続で減少した一方、外国人は 299万3839人で3年ぶり  
に増加しています。

外国人の増加は、今後の日本の少子化対策につながる内容であり、現状、しっかりと浦  
安市の日本語指導員が、児童生徒の背景や事情に適した教育支援を行なっていることを頼  
もしく、感じるとともに、その強みを発信していただきたいと思います。

#### いちょう学級における教育機能の充実（評価：達成）

学校に登校しない、登校できない児童生徒の居場所となるいちょう学級の教育機能を充  
実させ、学習指導・体験活動・グループ活動等を支援、学校生活や社会生活への適応を図  
るという点で目覚ましい成果を出しておられ、「達成」の評価は妥当です。

特に、訪問支援でかかわっている児童生徒の保護者を対象に、新しい試みである「いち  
ょう学級保護者の集い」（不登校の悩みについての先輩保護者の体験談を聞く。進路の情報  
共有。保護者同士の交流）を進めることができたのは、日ごろの地道な活動があつてこそ  
のことと敬服します。

#### 学校給食費の無償化（評価：達成）

令和4年3月23日の浦安市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例が施行さ  
れたことで、浦安市が設置する小学校の6年生、中学校の3年生の学校給食費が免除とな  
りましたので、「達成」の評価は妥当と考えます。

引き続き、浦安市の今後の財政収支見通しや新たな財源確保を行うことで、学校給食費  
の完全無償化を進めて頂きたいと願います。

#### 学校規模適正化事業（評価：おおむね達成）

「浦安市学校規模適正化基本方針」を見直し、「特定地域選択制」を実施したことにより、  
南小学校の新入生の教室数の不足課題を乗り越えることができました。今後の検証を踏ま  
えて、「おおむね達成」の評価が妥当と考えます。

#### 認定こども園・幼稚園改修事業（評価：達成）

美浜南認定こども園の改修工事に際し、園児の安全性や園の運営の妨げにならぬよう工  
事作業を行うとともに、耐震診断結果に数値の把握方法に認識の誤りがあり、耐震性の面  
からも、再度、耐震診断を行い、補修工事を進め、終了しました。よって、「達成」は妥当  
と考えます。

#### 小・中学校改修事業（評価：達成）

富岡中学校校舎の改修工事、美浜南小学校、日の出小学校の各校舎の改修設計が、目標通り実施され、美浜中学校校舎についても、施設安全性と老朽化への対応として、改修に着手し、令和5年度にまたがったことを確認しました。

#### 防災教育の推進（評価：達成）

各校で、年2回の防災訓練（避難訓練・引き渡し訓練）実施に加え、教科・総合の学習の時間を使って防災教育が行われていることを確認いたしました。

引き続き、児童生徒の安心・安全を確保するための訓練は当然のこととして、12年前の東日本大地震の被災地としての経験値を、後世に伝えていくことが重要な時期にきています。児童・生徒の保護者も、浦安の震災当時の状況を知らない世代になっており、何よりも、その時の教訓として生まれ定着している、地区ごとの地域防災を取り込むことが大事なポイントです。また、災害は、地震以外にもあり、とりわけ風水害対策などは、近年の地球温暖化による、予期せぬ線状降水帯の被害を見る限り、急務な課題になると考えますので、時間をかけて取り組んで下さい。

#### 小・中学校エアコン更新事業（評価：達成）

エアコンの耐用年数（13年）に基づき、目標であった小学校4校、中学校8校の更新設計を行いました。よって、「達成」は妥当と考えます。

地球温暖化による猛暑日の増加や、これまでのウィズ・コロナと今後のアフター・コロナの中での換気作業によるエアコンへの負荷は、かなり高まっていたため、実際に、学校施設内の一部のエアコンが効かなくなった話もお聞きしました。年間を通して、すべての児童生徒が、快適な環境の中で、授業が受けられるよう、必要なチェックや見直し、改修をお願いいたします。

#### 千鳥学校給食センター次期事業検討事業（評価：達成）

令和4年度は、次期事業の検討のために、施設、設備・調理機器等の現況調査、給食関係からの意向調査等を行うことが目標となっており、着実に実施しましたので、「達成」の評価が、妥当と考えます。

#### コミュニティ・スクールのあり方検討（評価：達成）

浦安市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）のあり方や設置の方向性を示すべく検証校2校にて、学校と地域との連携の在り方を協議する合同会議を開催するとともに検証を行いましたので、「達成」の評価は妥当と考えます。

今後の方向として、令和6年度、市内全小中学校に学校運営協議会制度の導入を目指し、令和5年度は、現在の学校評議員制度体制から、発展的に新体制へ移行できるよう、正しい理解の浸透、地域連携が鍵になります。令和6年度に、新体制がスムーズに立ち上がるためには、4月スタートの公立の学校機関に対し、地域連携を担う人材の人選は、自治会

長は5～7月、PTA 会長は4～5月頃となり、輪番制で役員選任が遅くなる中、新体制のスタートのタイミングが遅れる（7月頃）ことを念頭に、令和5年度中に先手を打っておくことが重要です。

### 第3節 生涯学習

#### （仮称）子ども図書館等整備事業（評価：おおむね達成）

感染症対策財源確保のため、延期されていた子ども図書館整備事業の調査であるが、小中学生の読書時間や読書冊数が増えた一方で、市立図書館に行かなかった生徒が半数を超えていることや、ネット利用時間の増加などの、コロナ禍を経て、読書傾向が、これまでと異なっていること等、今後の本事業の機能や設備ニーズが、把握できました。調査で得られた、ゆっくりとくつろいで読書ができ、のんびり過ごせる場所、友だちと会話ができる場所、映画会やプログラミングや3Dプリンター等を使った制作、職業体験、ボランティア等ができる場所など、「子どもたちの居場所」にふさわしい事業となっていくよう期待します。

#### 舞浜地区公民館整備事業（評価：達成）

舞浜地区公民館事業は、「（仮称）舞浜地区公民館の整備」に向けて、地域住民等のニーズを踏まえ、基本計画策定を目標として進められました。住民説明会や市民アンケートから得られた声を踏まえ、検討委員会により基本計画案をまとめ、パブリックコメントを経て、3月末に以下の理念と基本方針の基本計画が策定されました。併せて、この期間、「（仮称）舞浜地区公民館だより」として、市民に対してきちんと広報されており、「達成」の評価は、妥当と考えます。

#### ものづくり環境整備事業（評価：達成）

令和5年度末に、中央図書館にファブスペースを開設することを目標に、事例調査研究や民間施設見学等を行い、整備方針や整備検討業務委託報告書を作成、予算計上を行っており、「達成」との評価は妥当と考えます。ただ、工房機能を備えたファブスペースを整備して、子どもから高齢者まで、幅広い市民が、ものづくりを通じて、個性や能力を発揮できる環境を提供することが、成果指標とするならば、市民への広報や、巻き込みなども並行して行い、高い期待感の中で、スタートできるよう期待しています。

### 第4節 文化

#### 郷土博物館展示リニューアル事業（評価：達成）

これまでの漁師時代の浦安の歴史・文化が中心だった展示から、埋め立て事業以降の歴史・文化、まちの発展等も加えた常設展にリニューアルして整備。「浦安の原風景」「漁師町浦安」「新しい町（鉄鋼団地・マンション・ディズニー）浦安」「浦安の自然」のテーマ構成で分かりやすく展示されています。この40～50年での浦安の変化の歴史が刻まれたことで、市民とその子どもたちの郷土愛は、さらに醸成されることが期待されますので、



「達成」の評価は妥当と考えます。

(付記) 今回のリニューアル・テーマ内容を基に、学芸員の方に講演会を行っていただきましたが、中身も濃い内容で、転入されてきたばかりの方のみならず、埋め立て後の転入された方からも、圧倒的に評判の良い講演となりました。転入出の多い浦安市ですが、引き続き、市民、転入者への案内・広報を呼びかけて、郷土愛の向上に繋げていくことを願います。

#### 街頭パフォーマンスライセンス事業 (評価: おおむね達成)

コロナ禍で、街頭パフォーマーたちが発表する機会が奪われ、特に、街かどステージの利用が制限されていた中で、6月から活動再開。ステージ利用件数は、60件の目標に対して46件。3年ぶりの街頭パフォーマー新規募集で9団体認定を増やし、目標50団体に対して47団体と、健闘して、次年度につなげています。「おおむね達成」の評価は妥当と考えます。

#### 浦安アートプロジェクト事業 (評価: 達成)

このプロジェクトの目指す、「まちの現在の姿を映す鏡」「まちの課題を投影する映写機」「課題対応の道筋を示す地図」となる芸術、アートから、まちづくりへアプローチするという本企画は、東京藝術大学の学生や講師陣の地に足のついた力強い連携で、「水」をテーマに、市民をしっかりと巻き込んだ素晴らしいキックオフイベントが実施できました。今後の展開も魅力的で、市民自身が、興味を持って、取組み、展開が広がる内容であり、新しい価値をもたらしていることを期待させます。

### 第5節 スポーツ

#### eスポーツの推進 (評価: 達成)

第1回 STAGE:0 eSPORTS High-School championship 決勝大会が、舞浜アンフィシアターで開催された関係から、令和元年度からスポンサードしてきましたので、「達成」の評価は妥当と考えます。ただ、今後は、オンライン開催が中心で、大会主催者から後援申請を見送る旨の調整も入っており、方向転換のチャンスと考えます。老人クラブ連合会の方(=アーケードゲーム、テレビゲーム、ファミコン世代)でeスポーツ大会の企画も上がっており、地域に根差した生涯学習スポーツとして、進めても良い時期と考えます。

#### 浦安クリテリウムの開催 (評価: おおむね達成)

令和4年度は、浦安クリテリウム開催のための実行委員会が設置され、第1回実行委員会が開かれ、関係分野の委員より、専門的見地に立った様々な意見を頂いており、開催実施に向けての第1歩が刻まれ、「おおむね達成」の評価は妥当であると考えます。

#### 浦安小学校屋内水泳プール一般開放事業 (評価: 未達成)

令和4年度は、コロナ禍の影響のために事業実施見送りのため未達成となりました。

(付記) \*幼児期体力向上支援事業も参照下さい。

屋内プールの一般開放事業とは、異なるテーマになりますが、小中学校プールの屋外プールの利活用について、転換点にきています。地球温暖化により、一般開放が、行われていない、学校における水泳の授業も中止が増えています。水泳指導者は不足、屋外プールの管理の重荷が、教師の働き方改革の支障にもなっています。加えて屋外プールが故の盗撮問題も起こっております。プールの維持修繕管理と人件費等と稼働率を考慮すると、見直しの必要な状況です。東京都区内では、公立や民間の屋内プールや専門団体を最大限活用。マイクロバスを使い、こうした屋内プールを効率的に活用することによって、年間通しての水泳指導を学校授業として行っている事例もあり、一般開放事業と並行し、見直しを行っていくことが重要な時期にきていると考えます。

#### 市内スポーツ施設の再配置調査検討業務（評価：未達成）

運動公園再整備計画を踏まえた各スポーツ施設再配置調査委託の仕様の検討を行うことが目標でしたが、再配備の検討の前に、現行施設の補修や整備、そして活用する必要性が高まり、評価は未達成としたこと。かわりに、浦安市社会体育施設長寿命化計画に策定に至った経緯を理解しました。その前の2年間（令和2年、3年）も、コロナ禍で、調査委託の仕様の検討ができなかった（未達成）という点も踏まえ、スポーツニーズの変化や実際の施設利用度等などにも目を向けて、今後の再配置につなげていって頂きたいと願います。

#### 運動公園の再配備（評価：達成）

社会体育施設長寿命化計画の策定業務を行いながら、令和4年度に目標としていた「体育館空調設備（自動制御、エアハンドリング）修正設計」「体育館、プール 劣化診断」「体育施設の改修工事」を、着実に実施しましたので、「達成」が妥当と考えます。

#### 総合体育館大規模修繕事業（評価：達成）

#### 屋内水泳プール大規模修繕事業（評価：達成）

#### 中央武道館大規模修繕事業（評価：達成）

上記3事業は、目標として、「施設の長寿命化計画策定」を掲げました。どの施設も「新耐震基準」となっており、改修工事を実施することで耐用年数を60年から80年に長寿命化することが可能であるため、それぞれの社会体育施設長寿命化計画に盛り込みましたので、「達成」が妥当と考えます。

#### 総合型地域スポーツクラブの充実（評価：達成）

市民スポーツに、適切に活動用備品が供給できており、引き続き、スポーツ愛好者の声に耳を傾けて、充実した活動へ繋げていって下さい。一方で、6つの総合型地域スポーツクラブが、中町・新町地域に集中している点は、元町地域の住民のスポーツニーズをしっかりと調査・マッチした総合型スポーツクラブの設立を期待します。

令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書に係る意見書

佐久間 邦友

## 1. 全体の講評

浦安市総合計画にある基本目標1「育み学び誰もが成長するまちへ」を実現するために、教育委員会が実施している取組について、事務局がとりまとめた「令和3年度浦安市教育委員会点検・評価報告書」及び関係資料、並びにウェブサイトなど関連する情報の確認も行いました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況に一喜一憂しつつも、コロナ禍という状況下において「できること」「できないこと」を取捨選択して教育施策が進められてきた状況から、少しずつではありますが、コロナ前またはアフターコロナに即した教育施策が実施されていることが報告書はじめ関係資料より確認することができました。

「令和4年度浦安市教育委員会点検・評価報告書」の評価及び記載について、数値を用いて評価している点は、EBPM 証拠に基づく教育政策の立案には重要です。令和3年度の点検・評価報告において指摘・提案しました評価を「達成」と「未達成」の2つに絞るのではなく、「やや達成」「やや未達成」など事業目標の達成を促す評価についても、新たに「おおむね達成」という評価を入れることで、分かりやすくかつ事業目標の達成を促進する表現になっていると考えます。

日々、人口動態はじめ市民の思考やニーズは変化しつつあり、それに対して迅速に対応する教育施策が今後も立案されることを切に願うところです。

## 2. 施策・事業ごとの講評

### 第1節 健全育成

新型コロナウイルス感染症拡大によって、パトロールの中止期間があり、パトロール回数は未達成となっていますが、下半期にはパトロールも再開できておりコロナ前の状況に戻りつつあると推測します。特に「補導」に対するネガティブなイメージを払拭するためにキャラクターの「ケロヤス」を作成したことは、市民の方々に関係活動を知ってもらうきっかけとしてとても有効な手段と考えます。

また、ネットパトロール実施件数は365日であり、SNSをはじめ情報技術の急速な進歩に対して有効な活動と考えます。現在のところ、リスクレベル3相当の発見はなく、問題となる画像の投稿等の発見には至っておりませんので、本事業を含め青少年に関連する市の取り組みが「問題となるような投稿」を未然に防いでいるとも考えます。しかし書き込みの中には「匿名による学校に対する誹謗・中傷」が見られるということで、今後、書き込みに至る原因分析など何らかの対処を検討する必要があると考えます。

## 第2節 学校教育

特色ある教育の推進では、5つの事業のうち「未達成」が1つのみで、ほか4つが「達成」、「おおむね達成」であり、計画されたすべての事業の目標がほぼ達成できたと考えます。

情報教育推進事業の評価は、「児童生徒情報教育実態調査」4項目の肯定的回答の平均80.3%（目標値：90%）、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」4項目の肯定的回答の平均が80.7%（目標値：85%）であったため「おおむね達成」の評価となりました。特に目標値以下であった「児童生徒情報教育実態調査」を見ていくと、「3 タブレットやスクリーンを使うことで、学習への関心・意欲が高まる（77.1%）」「4 デジタル教科書やデジタルコンテンツを活用することで、学習への関心・意欲が高まる（65.9%）」であり、この2項目の低い肯定率が平均値に影響していると考えます。しかし令和3年度、「4 デジタル教科書やデジタルコンテンツを活用することで、学習への関心・意欲が高まる」について肯定的に回答した児童生徒の割合は71%であり、令和4年度にはその割合がマイナス5ポイント減少していることがわかります。ICTを活用して学習への意欲・関心を高めることは重要ですが、単元の目標などを踏まえて適切なICTの活用、ICT支援員の配置、教職員のICT活用指導力向上の機会の確保が期待されます。

園・小・中連携教育の推進については、15校において「学びの連続性の重視」や「園小中の連携の推進」に関する取り組みがなされていることが確認できました。今後とも、中学校区における子供の実態を踏まえた特色ある教育課程の編成の推進を期待しております。

人権啓発推進事業は、人権教育の研修会において教員が自らの言動を振り返れるように「人権チェックリスト」を紹介しつつ、学校全体で省みる機会の設定はとても大切であると考えます。また、今日的な課題として挙げられる「ヤングケアラー」に関して研修機会において取り上げたことは、大いに評価でき、今後も継続した取り組みを期待しています。

体力向上推進事業は、体力・運動能力調査における各種目の全国平均を上回る割合を令和6年度までに小中学校ともに60%にすると成果目標を立てていますが、令和4年度の実績は20.1%（令和3年度21.5%）であり、今後工夫された体力向上事業を推進していくことが望まれます。また、令和3年度の評価・意見においても述べましたが、体力向上推進事業の評価は全国平均との比較に重きを置くよりも、過去の浦安市の子供たちの比較を行うことも重要だと考えますので、是非ともご検討ください。あわせて幼児期体力向上支援事業は、市内認可保育所等の利用率65.3%（目標値：65%）ではありますが、体力向上推進事業の目標達成のためにも、利用率向上に向けて事業改善を推進していただきたいと考えております。

一人ひとりの個に応じた指導の充実では、8つの事業すべて「達成」「おおむね達成」であり、計画された事業の全てで目標が達成されたと考えます。しかし、特におおむね達成であった「学校教育臨時教員等経費」「いじめ問題等の対策の充実」については、子供たちへの教育活動において重要な事業です。そのため、事業目標の達成に向けた改善が必要と思われれます。

学校教育臨時教員等経費ですが、昨今の教員志願者の激減による全国的な講師不足の影

響を受け、配置目標85%に対して83.6%の配置であったことから「おおむね達成」の評価となっております。今後の方向性では、「関係各課との連携による配置基準の見直し」を挙げていますが、大学などの養成機関などへの広報、現在は教職に就いていない教員免許取得者に対して教職に就くことを促すことを含む広報活動や彼らへの職能開発の支援についても取り組まれることが望まれます。

いじめ問題等の対策の充実では、「浦安市小・中学生生活実態調査」において「いじめは、いけないことだと思う」の設問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」の合計が、小学校95.4%（令和3年度：98%）、中学校95.4%（令和3年度：97%）と高い数値を示していますが、令和3年度よりも数値が低下していることがやや気になります。加えて、「いじめ教えてメール相談件数」が10件と令和3年度より大幅に増加していることも踏まえ、いじめ防止対策推進法第4条では「児童等は、いじめを行ってはならない。」と定められていることからより効果的な対策が望まれます。

学校給食費の無償化については、第3子及び小学校6年生と中学校3年生の児童生徒に係る学校給食費の無償化を実施しており、昨今の物価高騰や子育て支援政策の側面からも有効な施策と考えます。課題にも挙げられておりますが、是非とも学校給食費の完全無償化について検討していただけたらと思います。

教育環境の向上では、6つの事業のうち「おおむね達成」が1事業であり、ほぼ事業が達成できたと考えます。おおむね達成と評価した「学校規模適正化事業」は、児童生徒の推移など人口動態の影響を受けるため、短期的な視点による評価は難しいところではあります。しかし子供たちの学校教育の適切な環境維持のために、引き続き検討を行う必要があると考えます。また、小・中学校のエアコン更新事業について、令和4年度は小学校4校、中学校8校の設計を実施しましたが、近年の異常気象を踏まえ計画を前倒しするなど柔軟な対応について今後検討していただきたいです。

地域とともに子供を育む体制の推進では、浦安型コミュニティ・スクール（合同会議）を設置し、その運営体制の検証が行われました。学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」が求められている中で、コミュニティ・スクールは有効なツールとなります。まずは検証校において「浦安型コミュニティ・スクール」として合同会議を充実させ、その実践を研修会などの機会を用いて、市内の小中学校への導入の準備を進めていただきたいと思います。

### 第3節 生涯学習

市民一人ひとりが学ぶ機会の充実において、（仮称）子ども図書館等整備事業は「おおむね達成」ですが、子育て支援機能を備えた複合施設として検討する方向とのことであり、是非とも児童生徒に対して実施した調査結果を反映して図書館が整備されることを願っています。

舞浜地区公民館整備事業において、アンケート調査においてニーズの高い「図書スペース」と「多目的室」を優先的に配置したこと、子育て世代の利用を踏まえた「保育室」の配置計画は、地域住民等のニーズに即した施設の設置になると考えます。昨今の資材高騰

に伴う建築費の高騰が予想されますが、市民のつながり交流する機会の創出のために計画の実施に邁進していただきたいです。

#### 第4節 文化

郷土博物館展示リニューアルオープンに向けて、浦安の歴史や文化を後世に伝え残すことをコンセプトに「浦安の原風景」「漁師町浦安」「新しい町浦安」「浦安の自然」の4つのテーマでリニューアル工事が完了し、特にメリハリをつけた展示としたことによって、より印象に残りやすい展示になったのかと推察します。その結果、市民の郷土の理解や愛着が進むのではないかと期待しています。

街頭パフォーマンスライセンス事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、年度途中からの再開であり評価が「おおむね達成」であったことは致し方がないものの、市民が文化芸術に触れる機会の充実が図れる事業の継続及び新規事業の立案が望まれます。

#### 第5節 スポーツ

近年、「e スポーツ」が注目されていますが、過去には高校対抗 e スポーツ大会『Coca-Cola STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019』を市内施設で開催された実績があり、昨今の状況によりオンライン開催ではあったものの、後援を続けてきたかと思えます。しかしながら、前掲の大会がオンラインでの開催形式が継続されたことから市の『行事の共催及び後援に関する規程』により後援対象ではなくなったことは、理由は理解できますが、アフターコロナの状況を踏まえると、これを契機に今後の e スポーツに対する市の支援態勢を検討するきっかけになることを期待しております。

市内スポーツ施設の再配置や運動公園の再整備、総合体育館大規模修繕事業などハード面に関連する事業は、適切に対応され「達成」の評価に至っています。今後、修繕に際して利用者にとって使いやすい施設の修繕になることを期待しております。

